

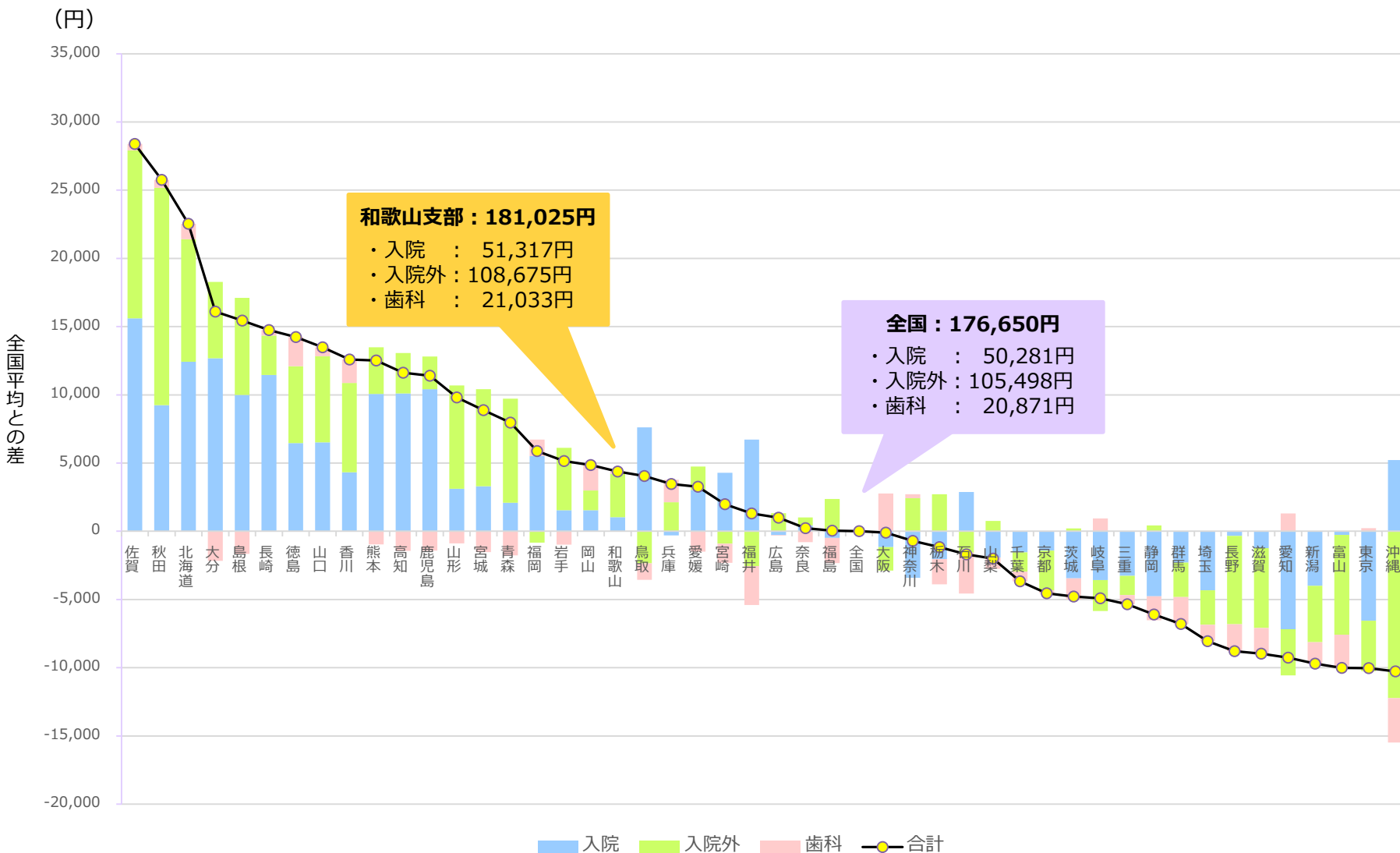
令和2年度 和歌山支部医療費分析

- I． 和歌山支部医療費の全国との比較
- II． 和歌山県医療提供体制にかかる全国との比較
- III． 和歌山支部医療費の県内での比較
- IV． 和歌山支部健診結果データの全国との比較
- V． 和歌山支部健診結果データの県内での比較

I．和歌山支部医療費の全国との比較

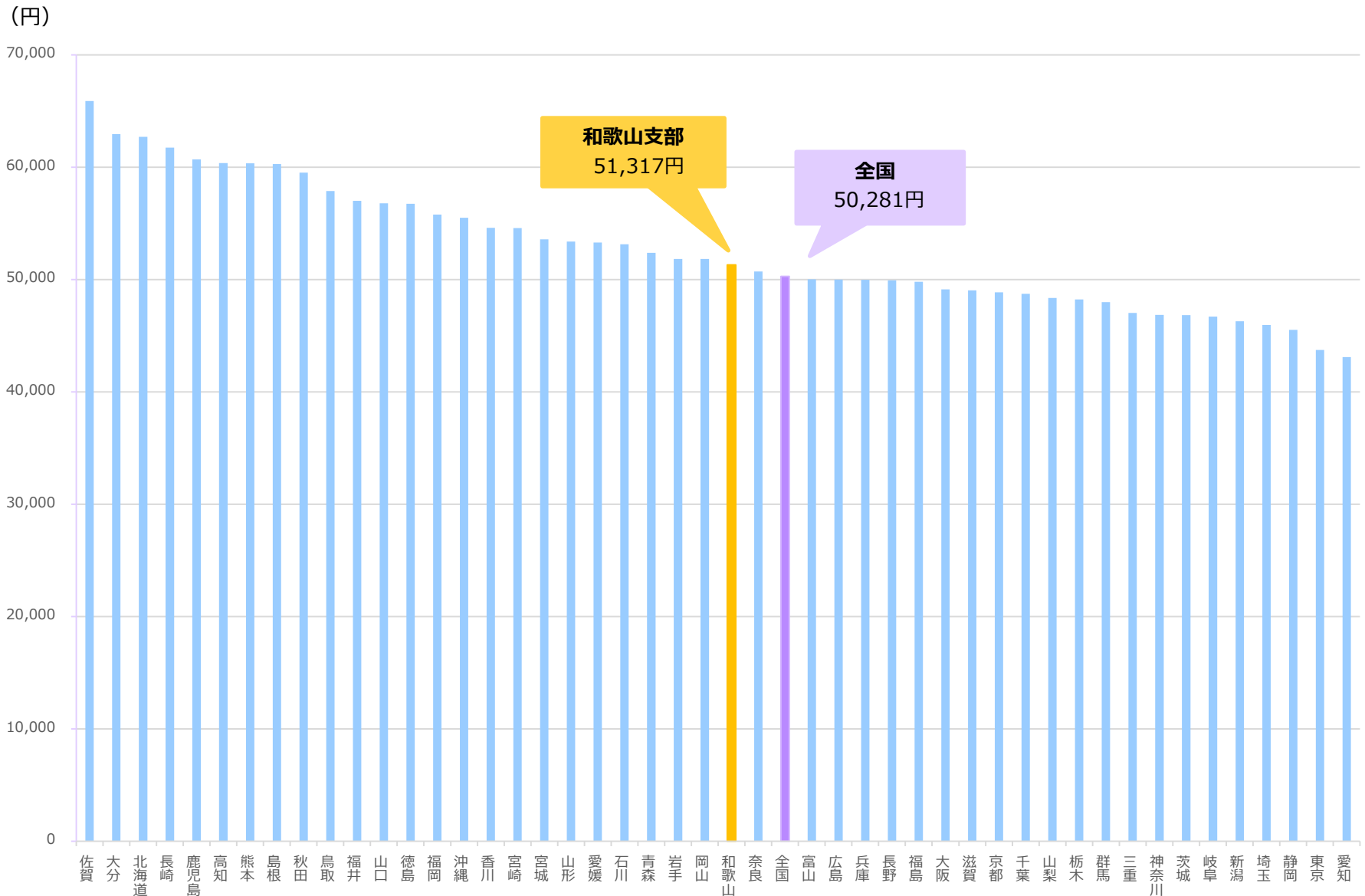
加入者1人あたりの診療種別医療費の全国比較（令和2年度）

和歌山支部は181,025円で全国平均を4,375円上回っており、**全国19位とやや高い水準**にあります。入院・入院外・歯科とも全国平均を上回っていますが、特に入院外が高くなっています。最高は佐賀支部の205,046円、最低は沖縄支部の166,386円です。



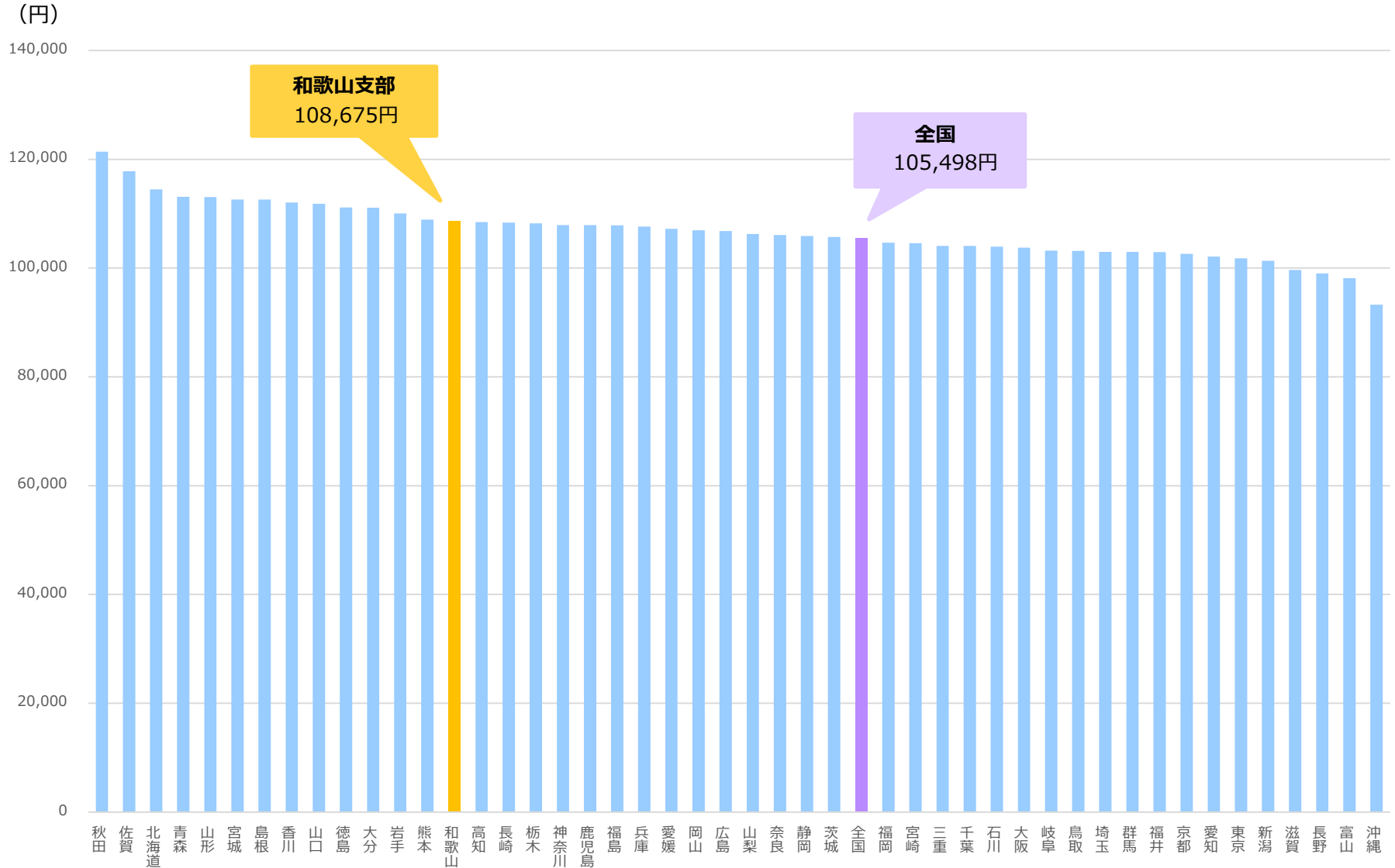
和歌山支部加入者1人あたりの入院医療費の全国比較（令和2年度）

和歌山支部は51,317円で全国平均を1,036円上回っており、**全国25位**です。最高は佐賀支部の65,891円、最低は愛知支部の43,106円です。



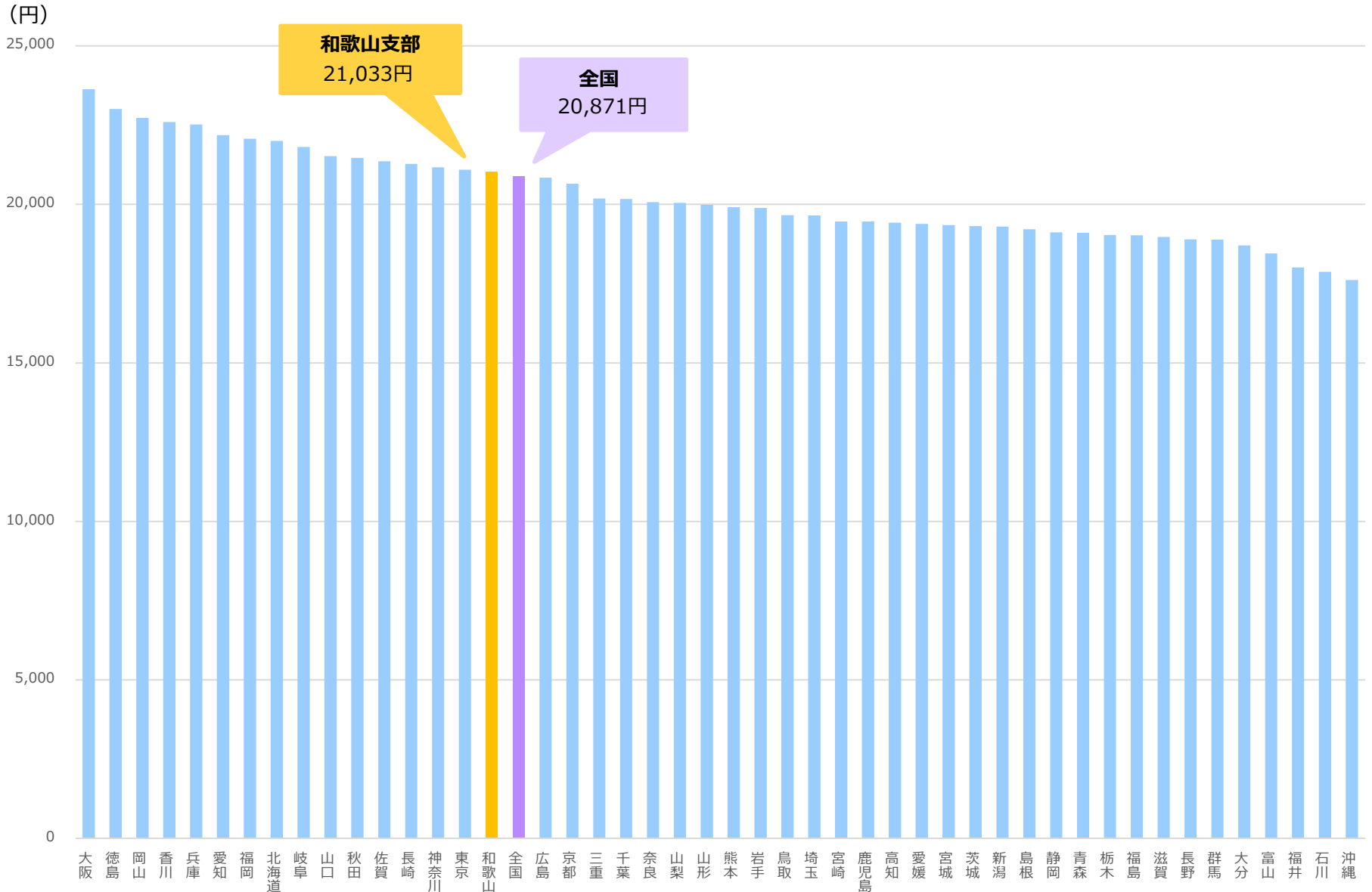
和歌山支部加入者1人あたりの入院外医療費の全国比較（令和2年度）

和歌山支部は108,675円で全国平均を3,177円上回っており、**全国14位とやや高い水準**にあります。最高は秋田支部の121,425円、最低は沖縄支部の93,274円です。



和歌山支部加入者1人あたりの歯科医療費の全国比較（令和2年度）

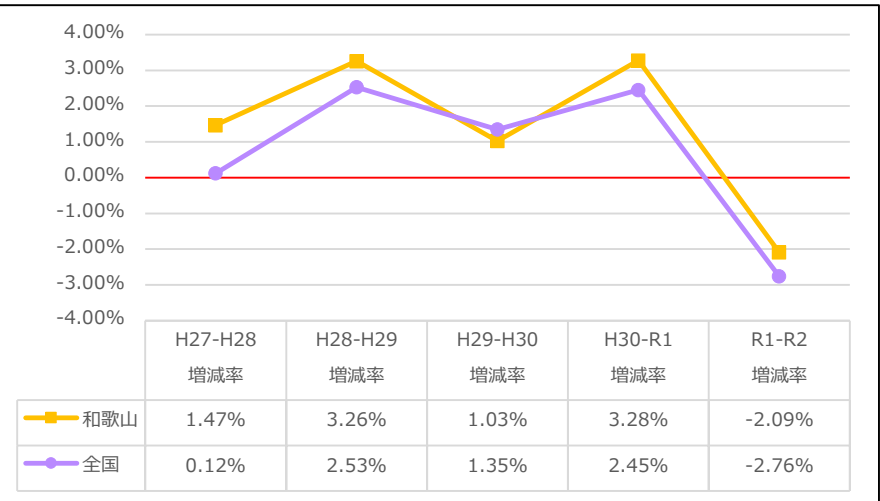
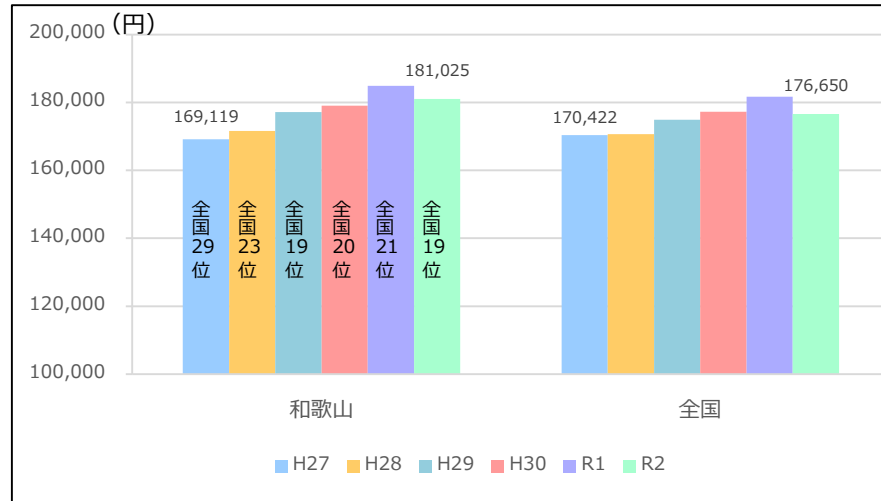
和歌山支部は21,033円で全国平均を162円上回っており、**全国16位**です。最高は大阪支部の23,637円、最低は沖縄支部の17,618円です。



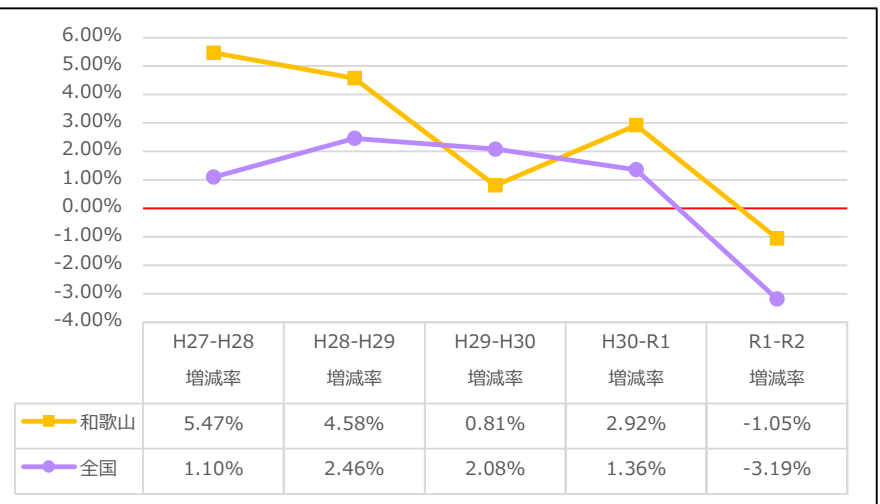
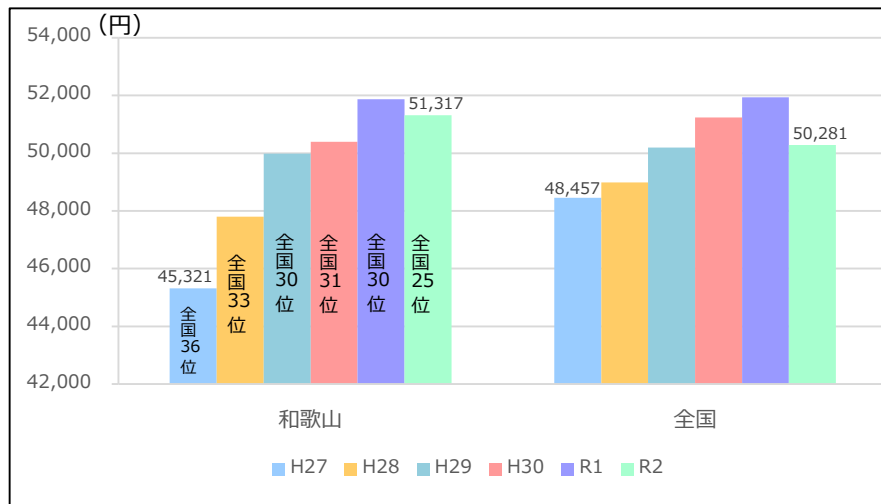
和歌山支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化

和歌山支部の1人あたり医療費は平成28年度以降、全国より高い状況が続いており、また、増減率も平成30年度を除いて全国平均を上回っています。入院医療費については、平成30年度を除き、増加率が全国平均より高く推移しているため、令和2年度に1人あたり医療費が全国平均を上回りました。

◆和歌山支部加入者1人あたりの医療費の経年変化



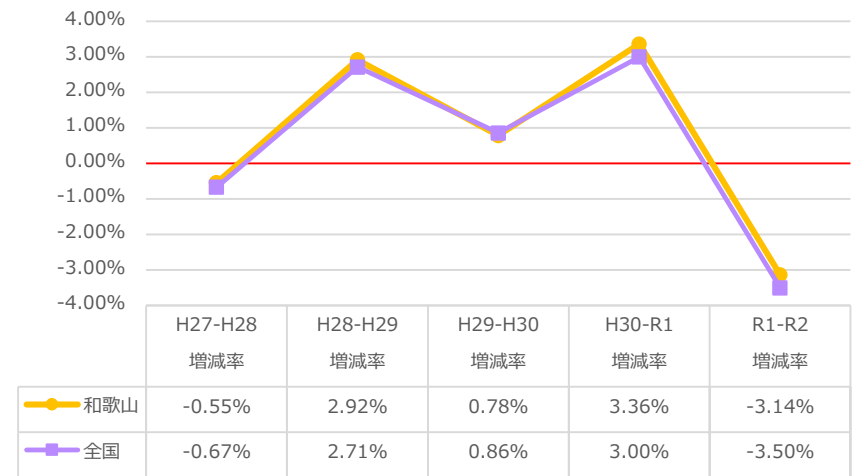
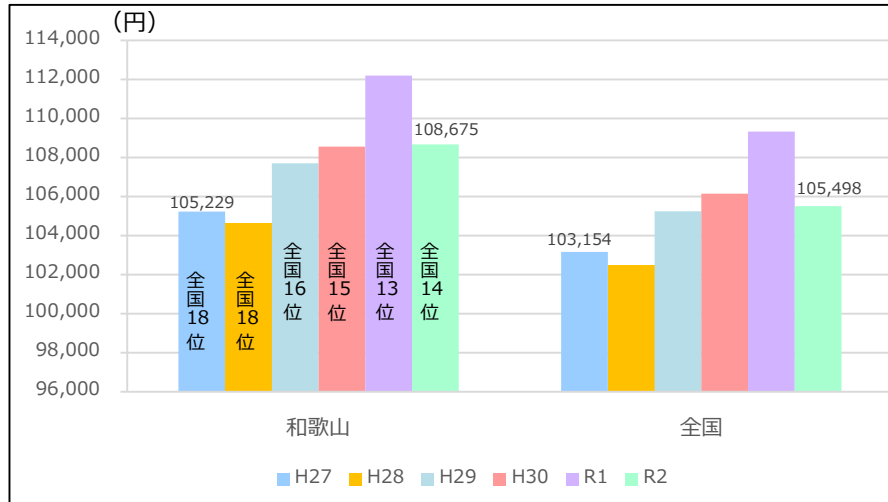
◆和歌山支部加入者1人あたりの入院医療費の経年変化



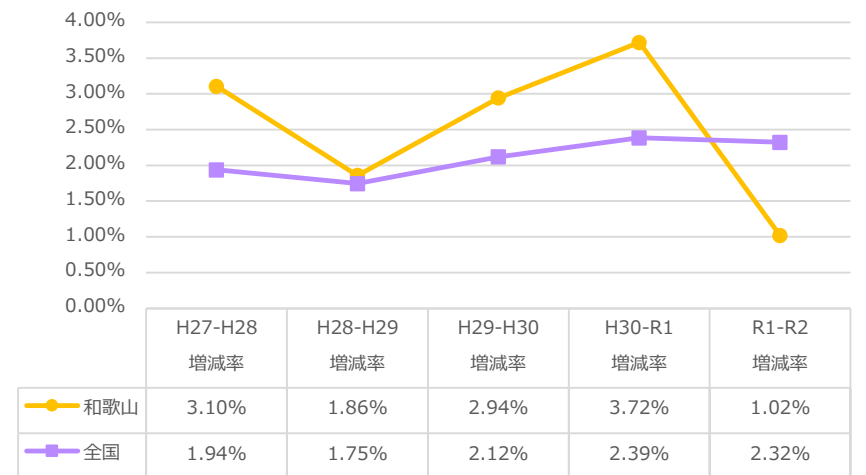
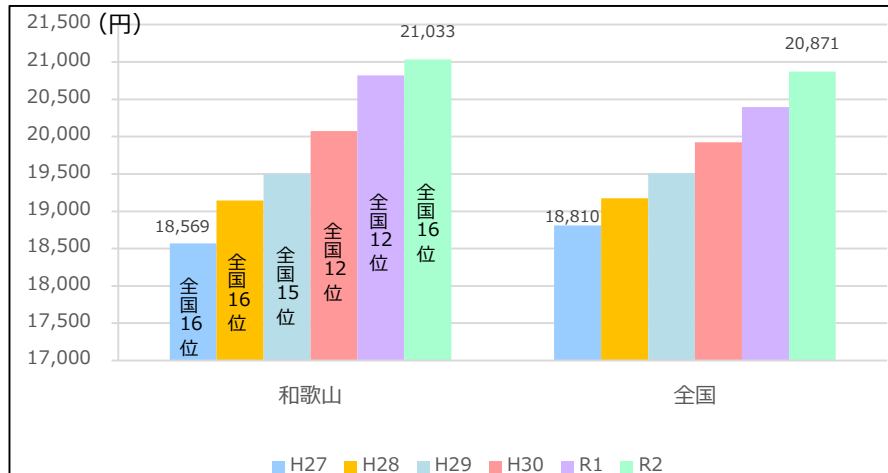
和歌山支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化

和歌山支部の入院外医療費は全国平均と比べて高い状況が続いていますが、増減率は全国平均と同様の推移でやや上回っています。歯科医療費の増減率は、全国平均と比べて高く推移していましたが、令和2年度は全国平均を大幅に下回り、1人あたり歯科医療費は全国水準に近づきました。

◆和歌山支部加入者1人あたりの入院外医療費の経年変化



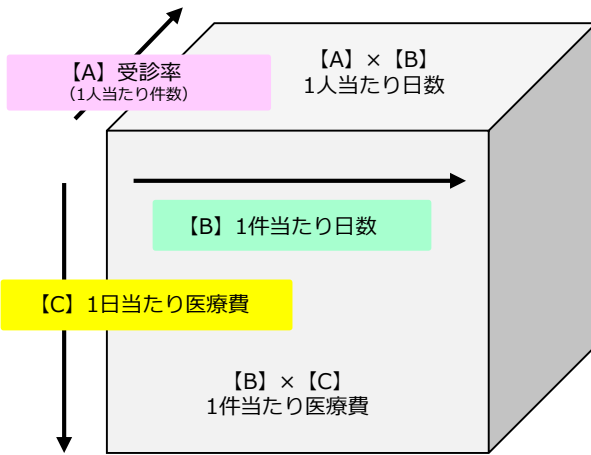
◆和歌山支部加入者1人あたりの歯科医療費の経年変化



医療費の3要素分解とは

1人あたり医療費は3要素に分解することができ、それぞれの要素の数値を様々な角度から比較することで、加入者の受診傾向などを把握することが可能となります。

◆1人あたり医療費の構成3要素



◆医療費の動向分析の切り口

	医療を受ける側（患者）に関する主な要因	医療を提供する側（医療機関）に関する主な要因
[A] 受診率	- 健康度 - 症状の程度 - 受診意識	- 医療機関数 - 医師数 - 病床数
[B] 1件あたり日数	- 疾病構造 - 症状の程度 - 受診意識	診療行為
[C] 1日あたり医療費	- 疾病構造 - 症状の程度	診療行為

◆1人あたり医療費を構成する3要素

$$\text{1人あたり医療費} = [\text{A}] \text{ 受診率} \times [\text{B}] \text{ 1件あたり日数} \times [\text{C}] \text{ 1日あたり医療費}$$

[A] 受診率 = 一定期間内に医療機関にかかった人の割合（レセプト件数を加入者数で除した値）

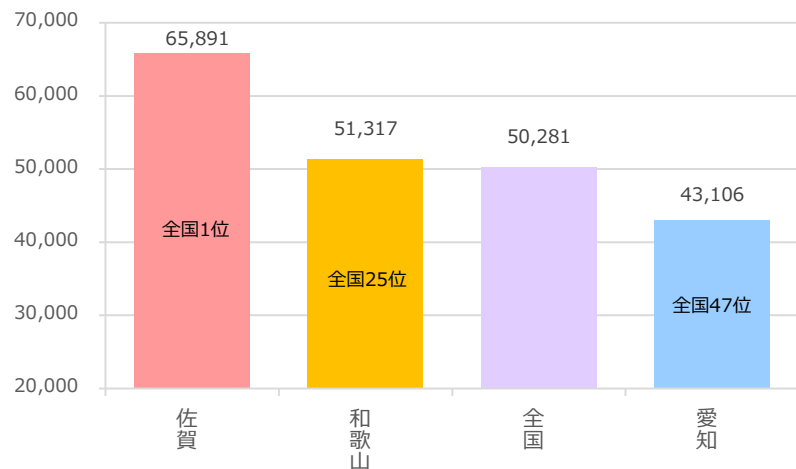
[B] 1件あたり日数 = 一定期間内に医療機関にかかった日数（診療の総日数をレセプト件数で除した値）

[C] 1日あたり医療費 = 1日当たりにかかった医療費（総医療費を診療の総日数で除した値）

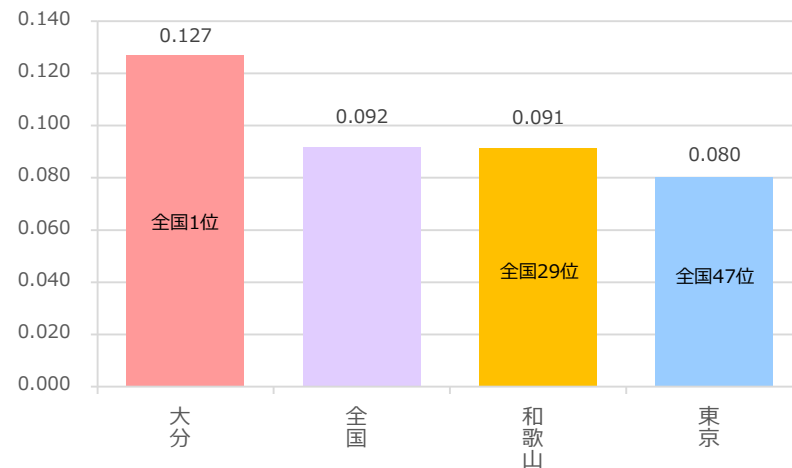
和歌山支部加入者1人当たり入院医療費の3要素分解（令和2年度）

和歌山支部の入院医療費の特徴として、【B】1件当たりの日数が全国と比べてやや高い傾向にあります。

1人当たりの医療費（単位：円／人）



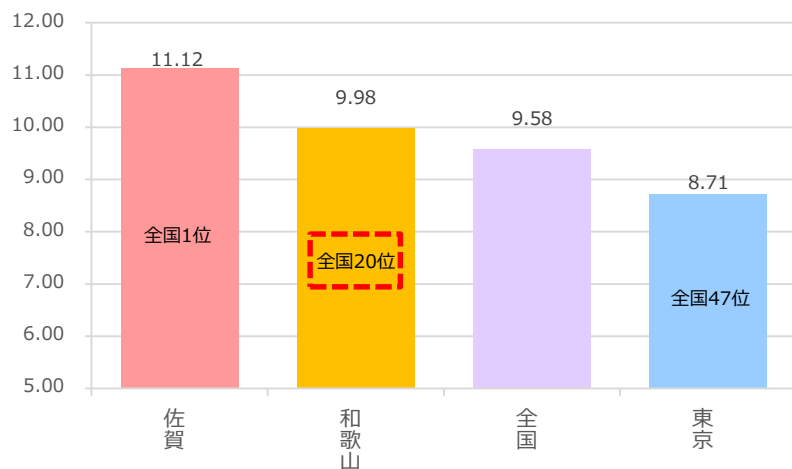
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



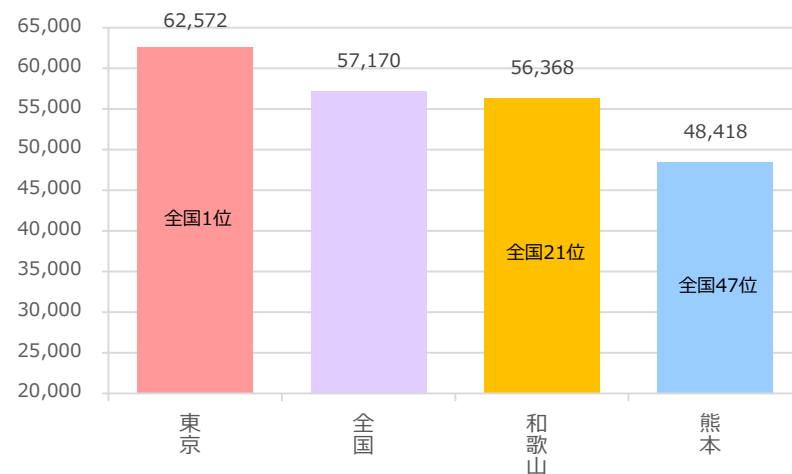
分解

分解

【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



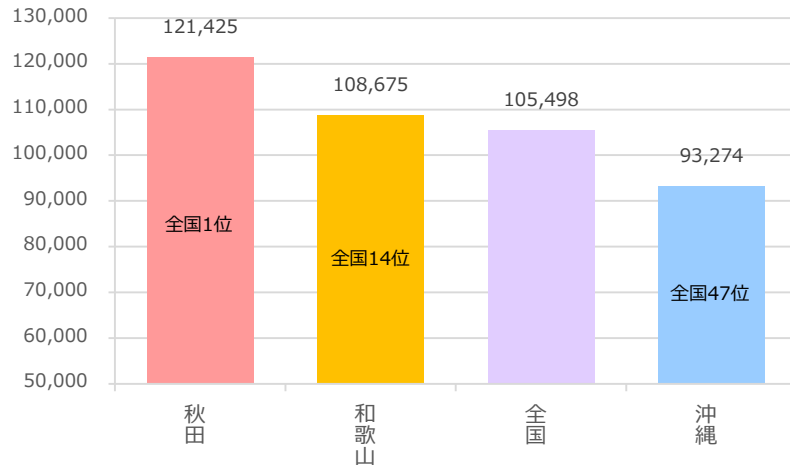
【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



和歌山支部加入者1人当たり入院外医療費の3要素分解（令和2年度）

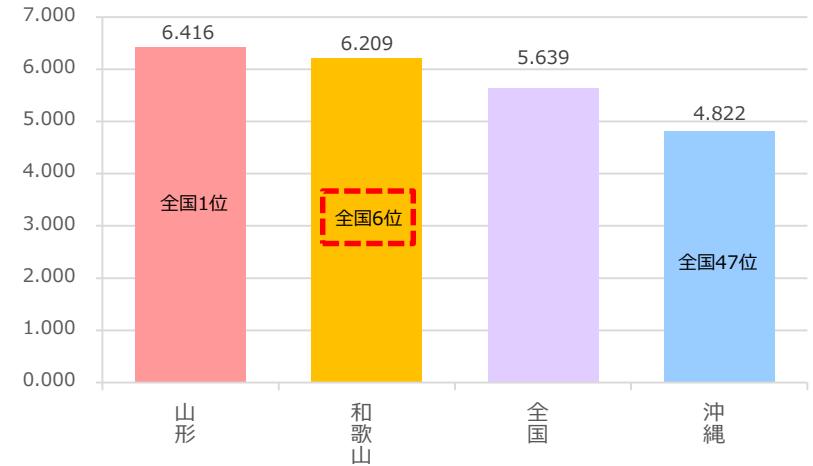
和歌山支部の入院外医療費の特徴として、【A】1人当たりの件数（受診率）が全国と比べてとても高いですが、【C】1日当たり医療費は低くなっています。

1人当たりの医療費（単位：円／人）



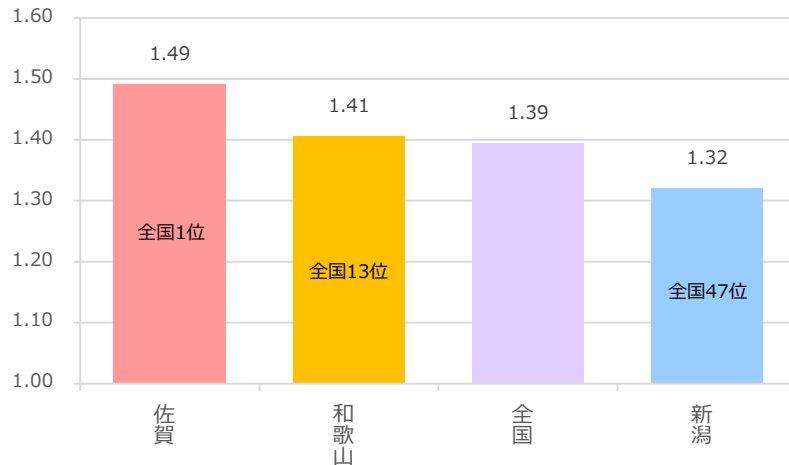
分解

【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）

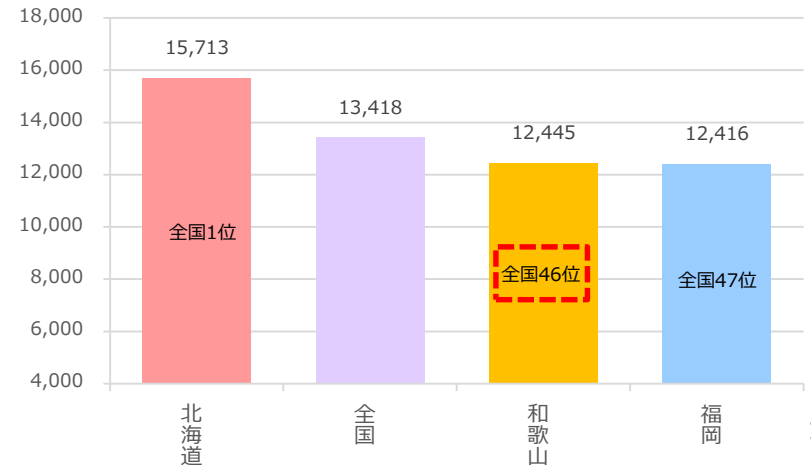


分解

【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



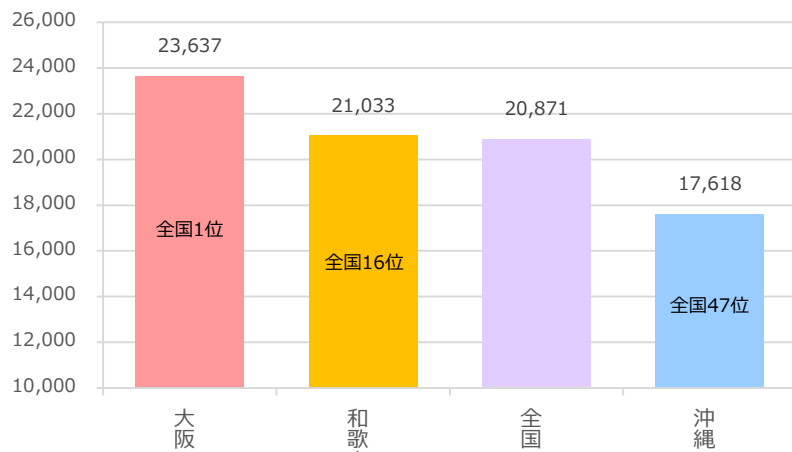
【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



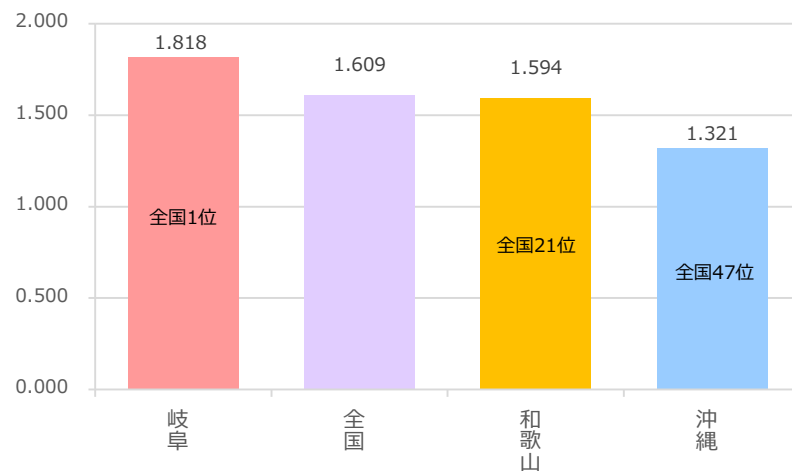
和歌山支部加入者1人当たり歯科医療費の3要素分解（令和2年度）

和歌山支部の歯科医療費の特徴として、【B】1件当たりの日数と【C】1日当たり医療費が全国と比べて少し高い傾向にあります。

1人当たりの医療費（単位：円／人）



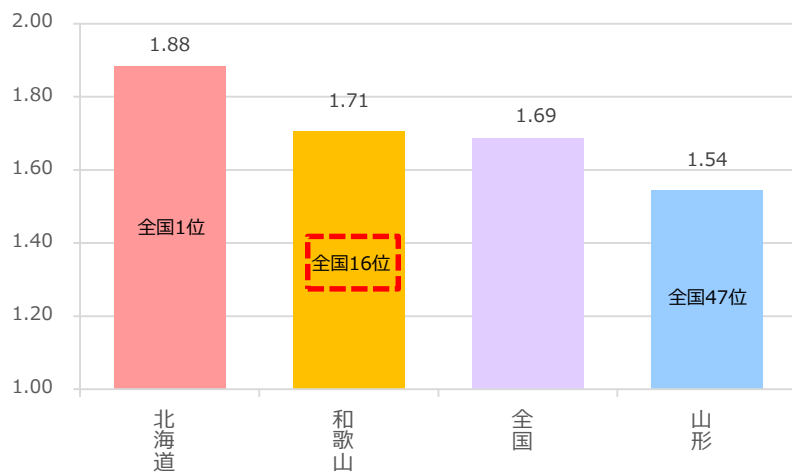
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



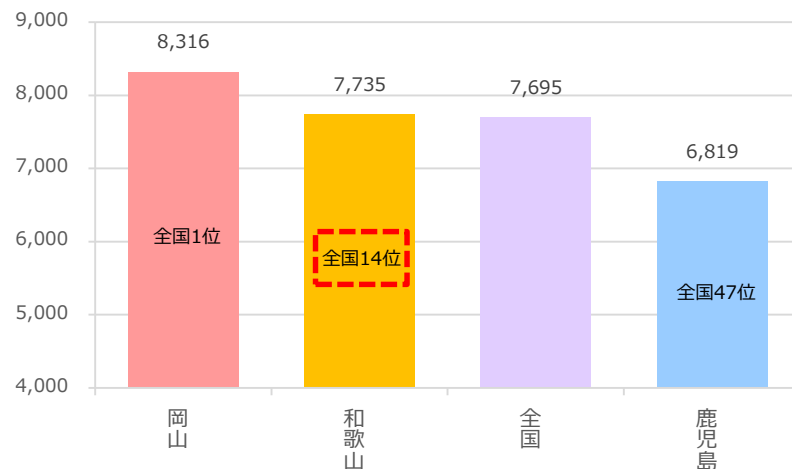
分解

分解

【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



疾病種別ごとの和歌山支部加入者1人当たり医療費（令和2年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「新生物（腫瘍）」、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で**全体の1/3（34%）**を占めており、全国の構成割合と比較してもほぼ同程度となっています。

また、疾病大分類ごとの和歌山支部の1人当たり医療費をみると、「消化器系の疾患」が全国4位、「腎尿路生殖器系の疾患」が全国2位と高い水準になっていることがわかります。

疾病大分類名	和歌山支部加入者 1人当たり医療費 (多い順)	和歌山支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名における 1人あたり医療費の 全国順位
新生物（腫瘍）（＞がん、白血病など）	23,998	13.26%	13.39%	26
循環器系の疾患（＞心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	22,484	12.42%	12.64%	27
不明な分類	22,261	12.30%	12.78%	19
内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病、甲状腺障害など）	14,240	7.87%	7.81%	23
筋骨格系および結合組織の疾患（＞腰痛、脊椎障害、関節炎など）	13,134	7.26%	7.27%	22
消化器系の疾患（＞肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	12,333	6.81%	5.92%	4
呼吸器系の疾患（＞かぜ、肺炎、喘息など）	11,677	6.45%	6.95%	36
腎尿路生殖器系の疾患（＞腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	10,858	6.00%	5.34%	2
損傷、中毒及びその他の外因の影響（＞骨折、損傷など）	6,945	3.84%	3.59%	16
精神及び行動の障害（＞精神疾患全般）	6,719	3.71%	4.13%	37
皮膚及び皮下組織の疾患（＞皮膚炎、湿疹など）	6,511	3.60%	3.96%	32
眼及び付属器の疾患（＞白内障、結膜炎など）	6,289	3.47%	3.26%	6
神経系の疾患（＞アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	6,113	3.38%	3.40%	26
感染症及び寄生虫症（＞ウイルス疾患、結核など）	4,497	2.48%	2.36%	6
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（＞貧血、免疫障害など）	3,229	1.78%	1.35%	2
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,257	1.25%	1.29%	20
周産期に発生した病態（＞妊娠、胎児発育障害など）	1,961	1.08%	1.18%	33
耳及び乳様突起の疾患（＞メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,877	1.04%	0.81%	3
妊娠、分娩及び産じょく（＞帝王切開、流産など）	1,833	1.01%	1.29%	46
先天奇形、変形及び染色体異常（＞心臓先天奇形、染色体異常など）	1,716	0.95%	1.20%	45

疾病種別ごとの和歌山支部加入者1人当たり入院医療費（令和2年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「新生物（腫瘍）」、「循環器系の疾患」で全体の4割（41%）を超えていますが、全国と比べると構成割合はやや低くなっています。一方、「腎尿路生殖器系の疾患」は、1人当たり医療費が全国7位と高く、構成割合も全国を大きく上回っています。

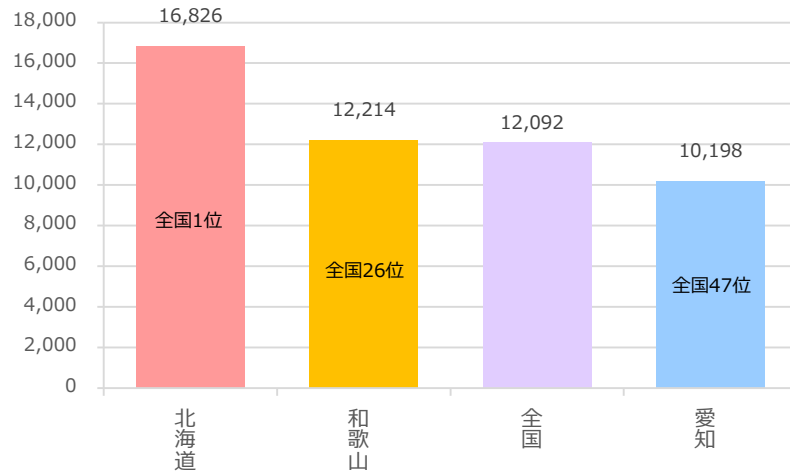
疾病大分類名	和歌山支部加入者 1人当たり医療費 (多い順)	和歌山支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名における 1人当たり医療費の 全国順位
新生物（腫瘍）（＞がん、白血病など）	12,214	23.80%	24.05%	26
循環器系の疾患（＞心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	8,982	17.50%	18.64%	36
筋骨格系および結合組織の疾患（＞腰痛、脊椎障害、関節炎など）	4,650	9.06%	8.11%	15
損傷、中毒及びその他の外因の影響（＞骨折、損傷など）	3,986	7.77%	7.19%	19
消化器系の疾患（＞肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	3,752	7.31%	7.25%	20
腎尿路生殖器系の疾患（＞腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	2,341	4.56%	3.75%	7
神経系の疾患（＞アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	2,247	4.38%	4.65%	36
精神及び行動の障害（＞精神疾患全般）	1,676	3.27%	3.73%	36
呼吸器系の疾患（＞かぜ、肺炎、喘息など）	1,656	3.23%	3.31%	26
周産期に発生した病態（＞妊娠、胎児発育障害など）	1,627	3.17%	3.48%	32
妊娠、分娩及び産じょく（＞帝王切開、流産など）	1,606	3.13%	4.02%	46
内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病、甲状腺障害など）	1,364	2.66%	2.10%	6
眼及び付属器の疾患（＞白内障、結膜炎など）	1,183	2.31%	1.73%	5
感染症及び寄生虫症（＞ウイルス疾患、結核など）	939	1.83%	1.47%	6
先天奇形、変形及び染色体異常（＞心臓先天奇形、染色体異常など）	917	1.79%	2.57%	45
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（＞貧血、免疫障害など）	628	1.22%	0.84%	4
不明な分類	409	0.80%	1.11%	30
皮膚及び皮下組織の疾患（＞皮膚炎、湿疹など）	402	0.78%	0.69%	12
耳及び乳様突起の疾患（＞メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	368	0.72%	0.52%	2
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	289	0.56%	0.56%	24

＞上位のうち、「新生物（腫瘍）」「循環器系の疾患」、また、和歌山支部で特に医療費の高い「腎尿路生殖器系の疾患」の3要素分解をしてみます。

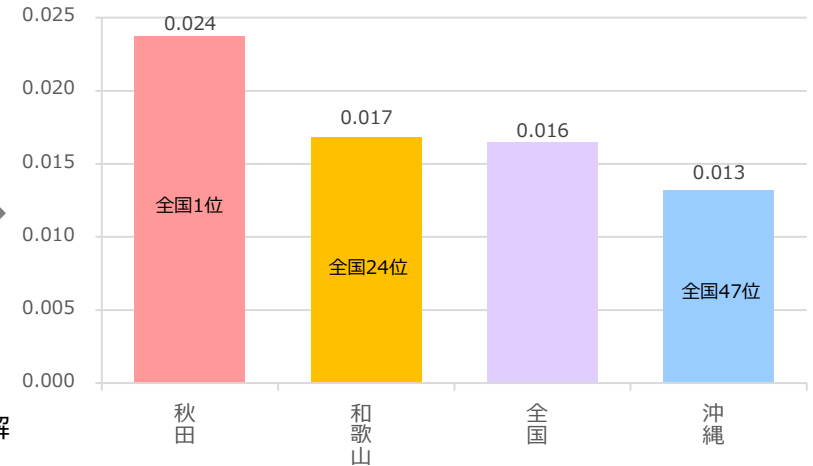
新生物の和歌山支部加入者1人当たり入院医療費（令和2年度）

3要素分解をしてみると、【A】1人当たりの件数（受診率）が全国よりやや高いことがわかります。

1人当たりの医療費（単位：円／人）



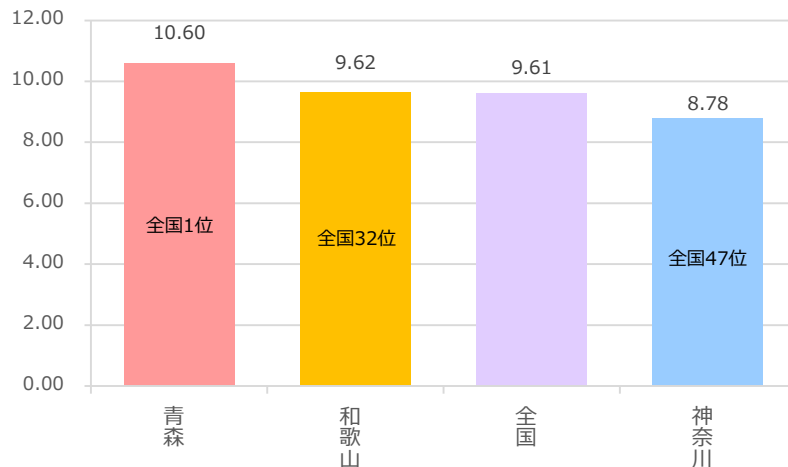
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



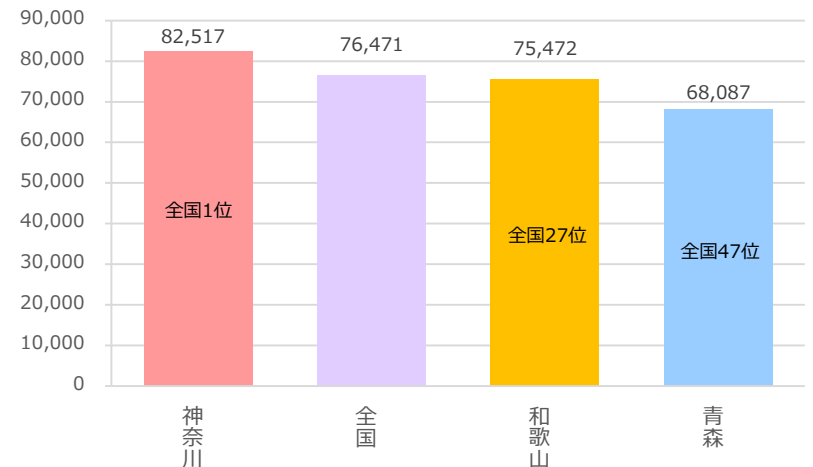
分解

分解

【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



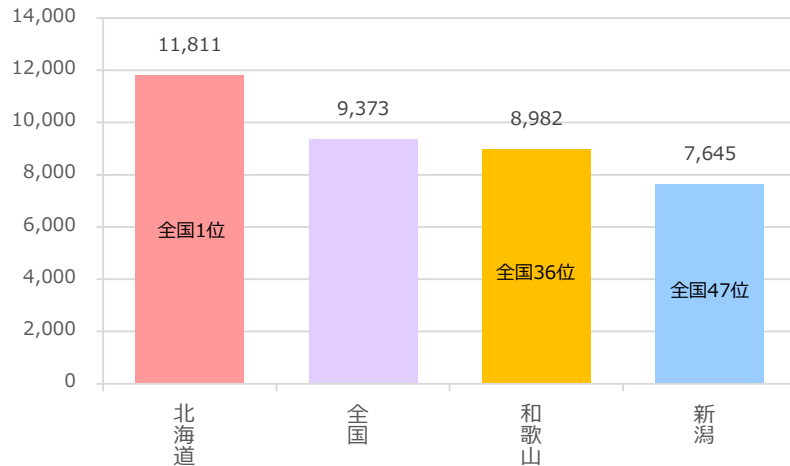
【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



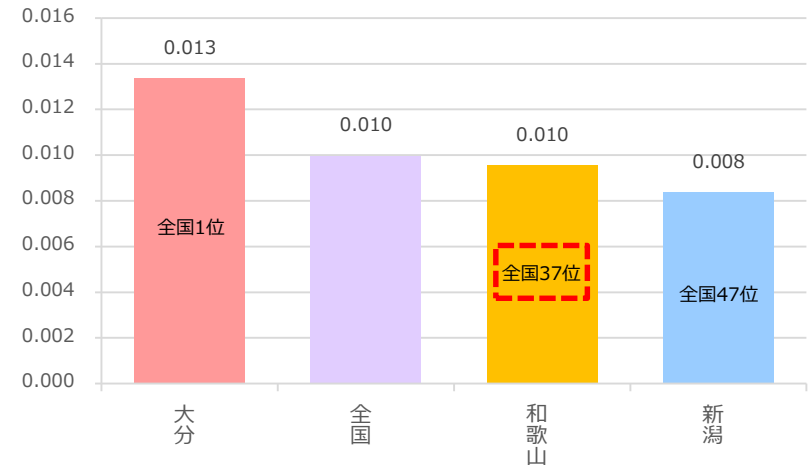
循環器系の疾患の和歌山支部加入者1人当たり入院医療費（令和2年度）

3要素分解をしてみると、【A】1人当たりの件数（受診率）は全国37位と低いですが、【B】1件当たりの日数は全国11位と高い傾向にあります。

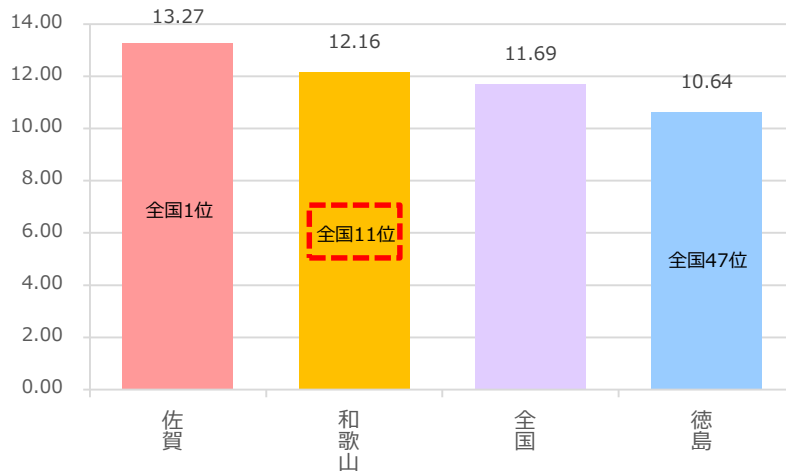
1人当たりの医療費（単位：円／人）



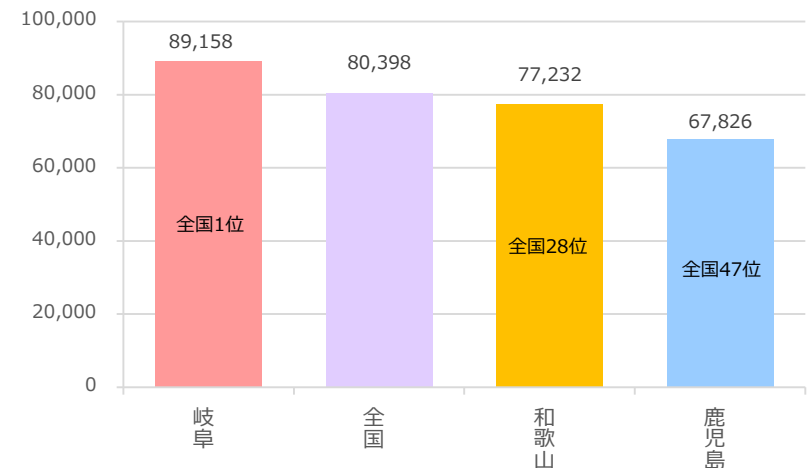
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



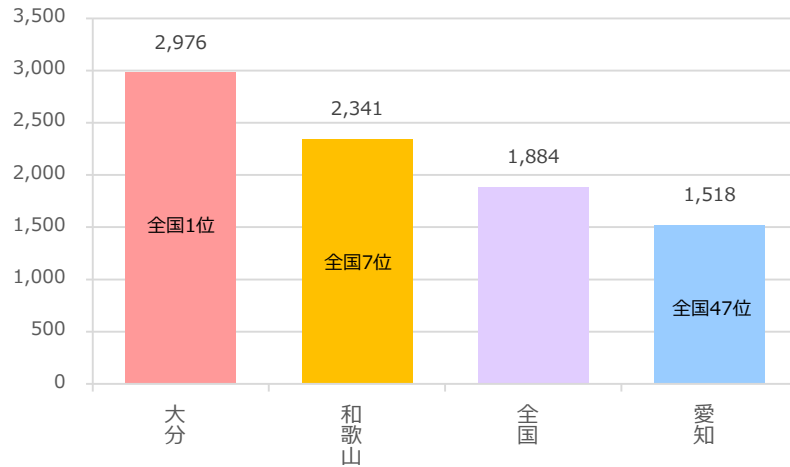
【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



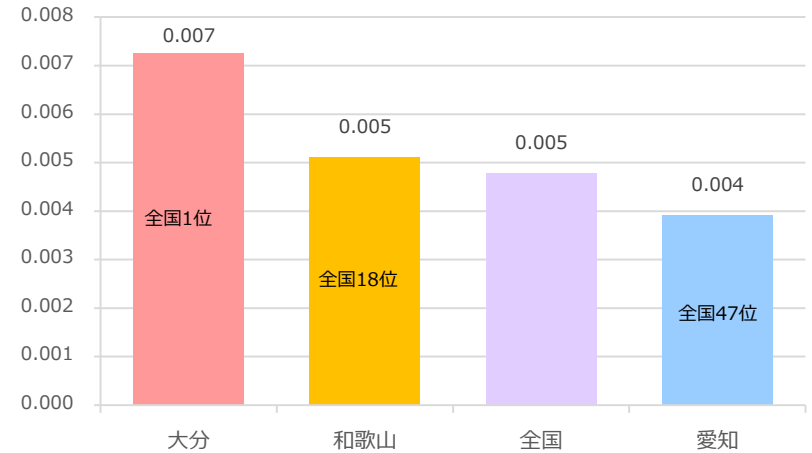
腎尿路生殖器系の疾患の和歌山支部加入者1人当たり入院医療費（令和2年度）

3要素分解をしてみると、【B】1件当たりの日数が全国1位と高いことがわかります。

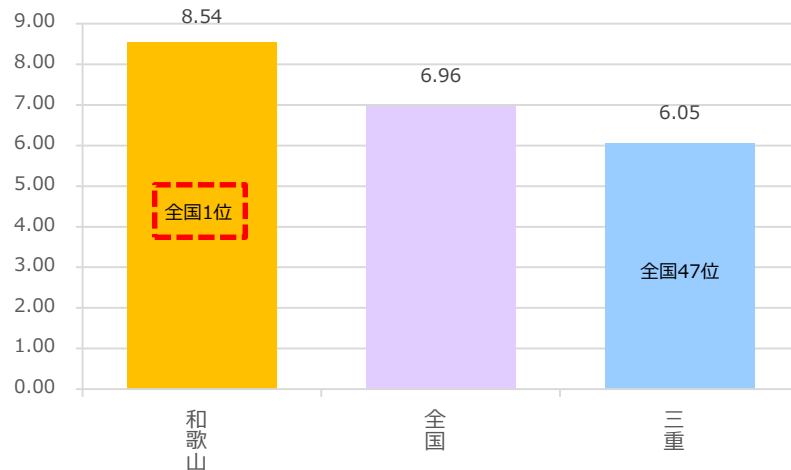
1人当たりの医療費（単位：円／人）



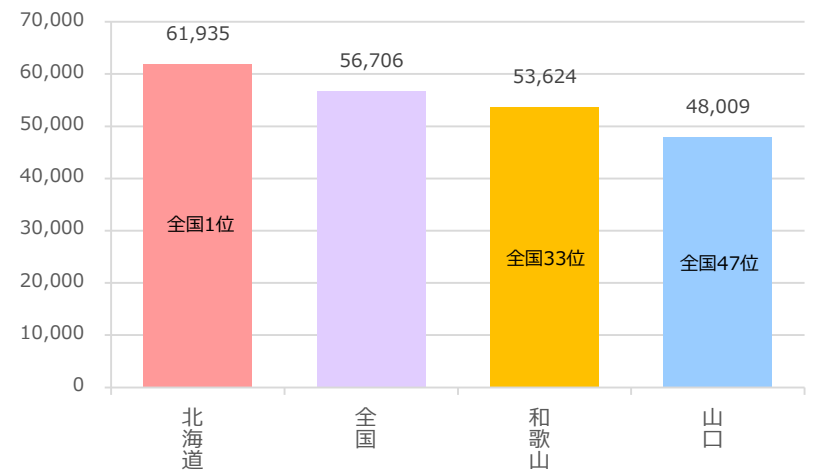
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



疾病種別ごとの和歌山支部加入者1人当たり入院外医療費（令和2年度）

疾病種別ごとに見てみると、生活習慣病を多く含む「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「新生物（腫瘍）」で全体の3割（35%）を超えています。全国の構成割合と比較しても、同程度となっています。

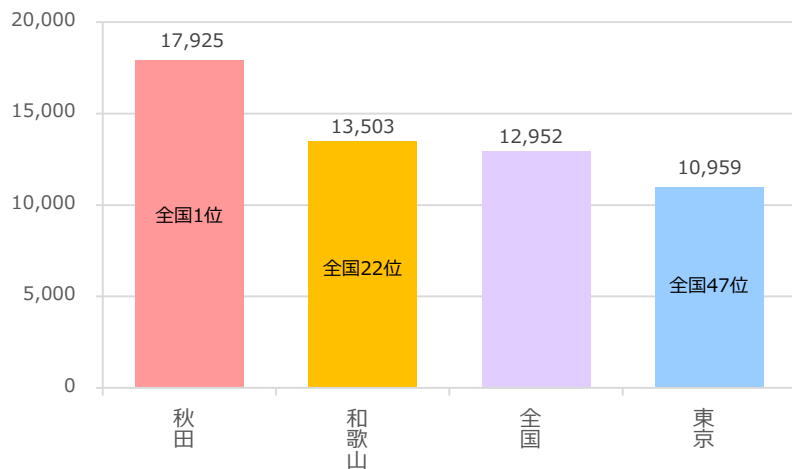
疾病大分類名	和歌山支部加入者 1人当たり医療費 (多い順)	和歌山支部 構成割合	全国の 構成割合	疾病大分類名における 1人当たり医療費の 全国順位
循環器系の疾患（>心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	13,503	12.42%	12.28%	22
内分泌、栄養及び代謝疾患（糖尿病、甲状腺障害など）	12,876	11.85%	12.08%	26
新生物（腫瘍）（>がん、白血病など）	11,784	10.84%	10.96%	21
呼吸器系の疾患（>かぜ、肺炎、喘息など）	10,020	9.22%	10.06%	38
消化器系の疾患（>肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	8,581	7.90%	6.45%	2
腎尿路生殖器系の疾患（>腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	8,517	7.84%	7.15%	4
筋骨格系および結合組織の疾患（>腰痛、脊椎障害、関節炎など）	8,484	7.81%	8.30%	37
皮膚及び皮下組織の疾患（>皮膚炎、湿疹など）	6,109	5.62%	6.31%	35
眼及び付属器の疾患（>白内障、結膜炎など）	5,106	4.70%	4.63%	12
精神及び行動の障害（>精神疾患全般）	5,042	4.64%	5.13%	36
神経系の疾患（>アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	3,866	3.56%	3.48%	15
感染症及び寄生虫症（>ウイルス疾患、結核など）	3,558	3.27%	3.26%	10
損傷、中毒及びその他の外因の影響（>骨折、損傷など）	2,959	2.72%	2.59%	9
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（>貧血、免疫障害など）	2,601	2.39%	1.86%	8
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,967	1.81%	1.89%	22
耳及び乳様突起の疾患（>メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,509	1.39%	1.11%	3
未コード化傷病名	819	0.75%	1.09%	41
先天奇形、変形及び染色体異常（>心臓先天奇形、染色体異常など）	799	0.74%	0.79%	29
周産期に発生した病態（>妊娠、胎児発育障害など）	334	0.31%	0.32%	23
妊娠、分娩及び産じょく（>帝王切開、流産など）	227	0.21%	0.24%	36

>上位のうち、「循環器系の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「新生物（腫瘍）」の3要素分解をしてみます。

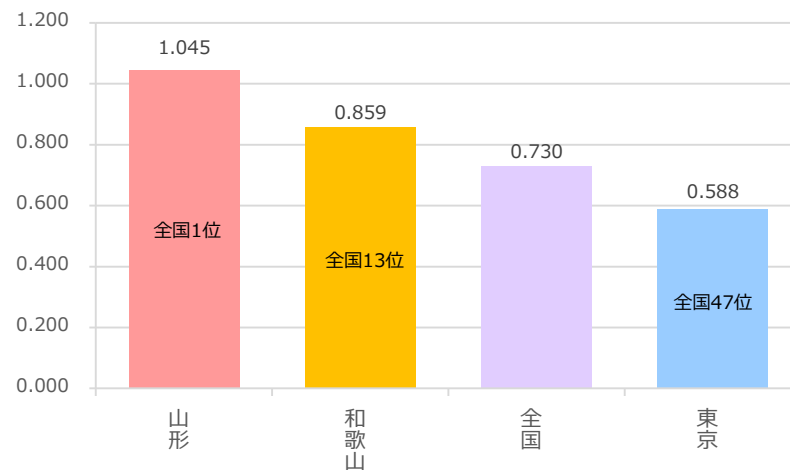
循環器系の疾患の和歌山支部加入者1人当たり入院外医療費（令和2年度）

3要素分解をしてみると、【C】1日当たり医療費は全国47位ですが、【B】1件当たりの日数が全国3位と高く、特徴的であることがわかります。

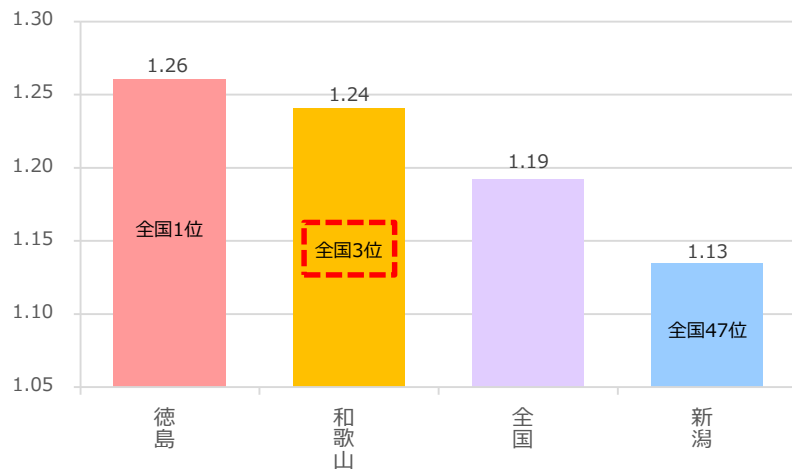
1人当たりの医療費（単位：円／人）



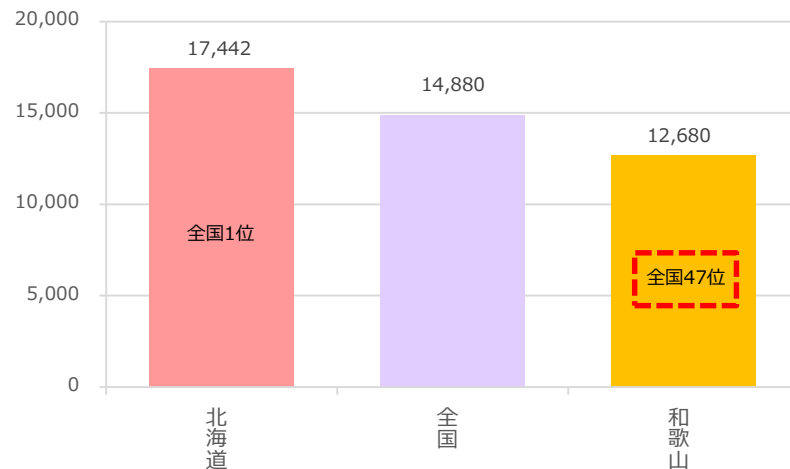
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



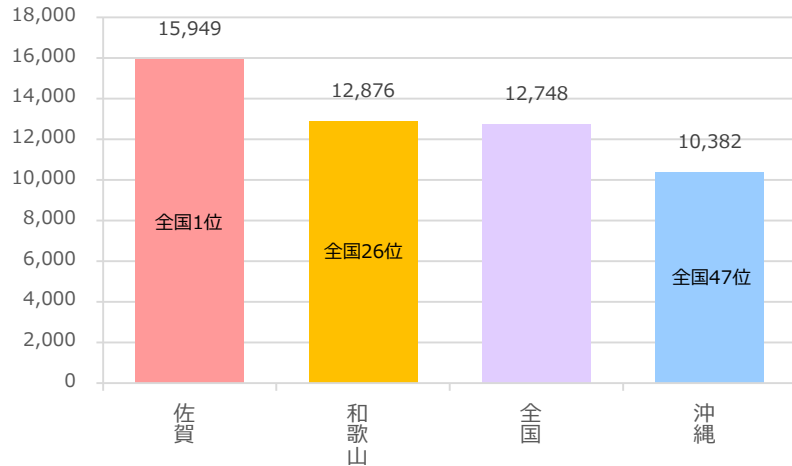
【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



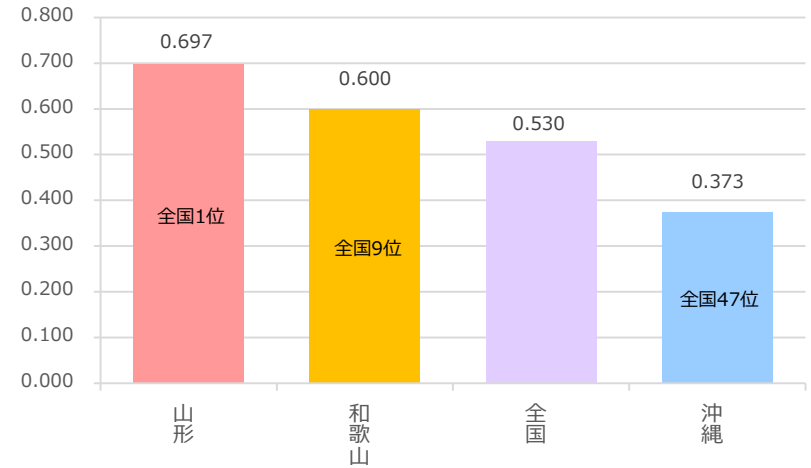
内分泌、栄養及び代謝疾患の和歌山支部加入者1人当たり入院外医療費（令和2年度）

3要素分解してみると、【C】1日当たり医療費は全国47位ですが、【B】1件当たりの日数が全国3位と高く、特徴的であることがわかります。これは、循環器系の疾患と同じ傾向です。

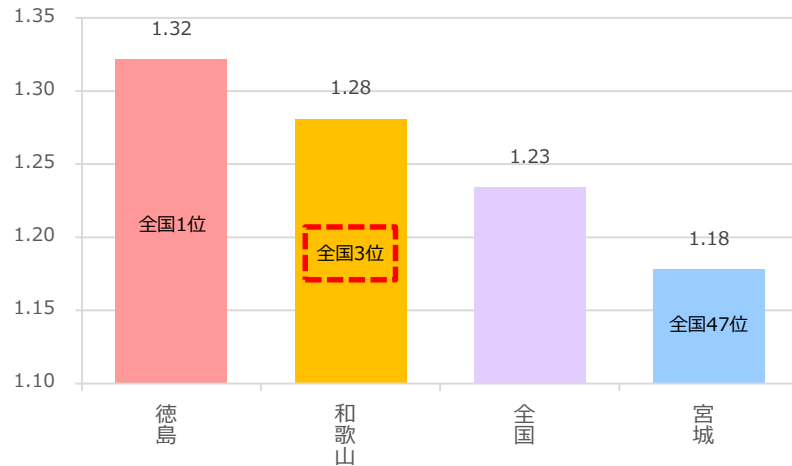
1人当たりの医療費（単位：円／人）



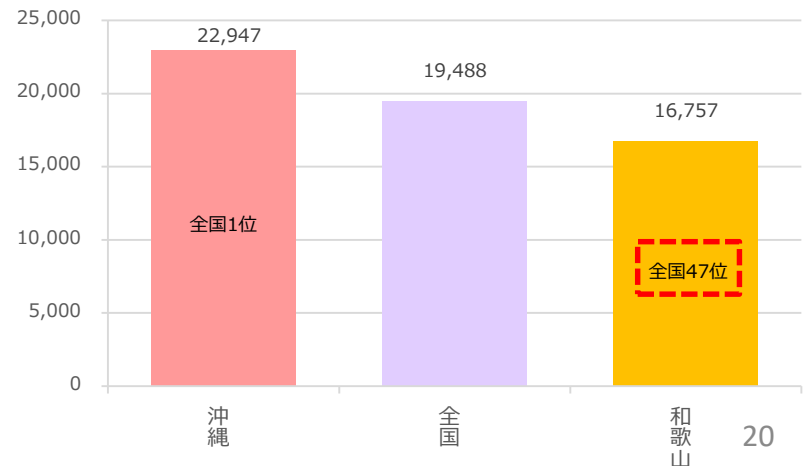
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



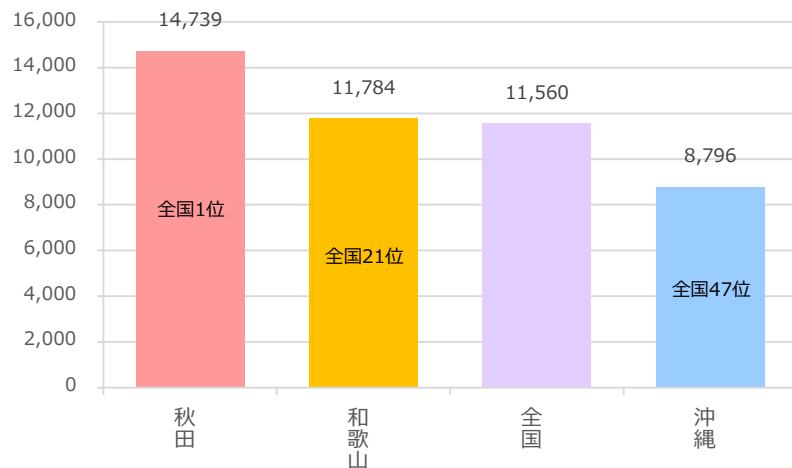
【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



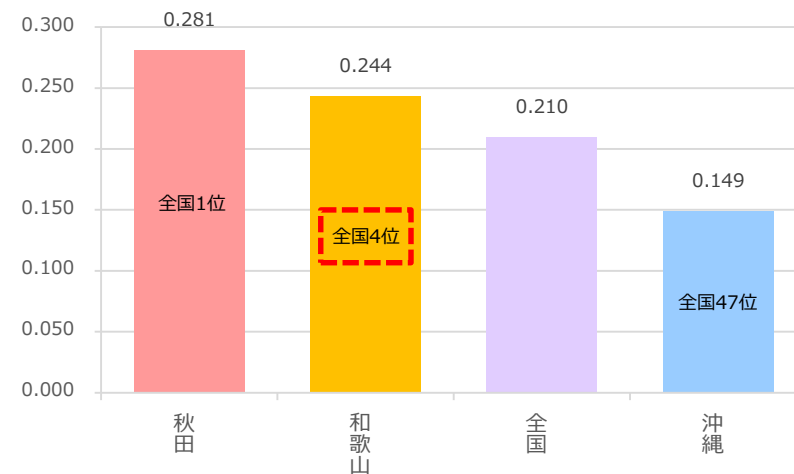
新生物（腫瘍）の和歌山支部加入者1人当たり入院外医療費（令和2年度）

3要素分解をしてみると、【C】1日当たり医療費が全国46位、【B】1件当たりの日数が全国40位と低い水準ですが、【A】1人当たりの件数（受診率）が全国4位と高いことがわかります。

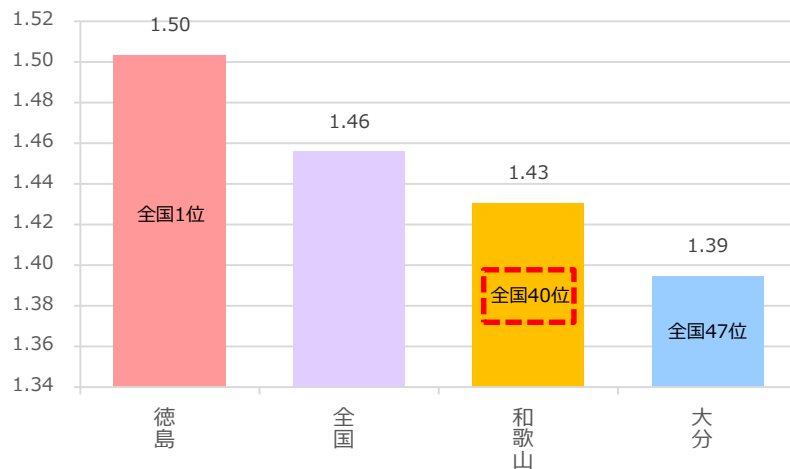
1人当たりの医療費（単位：円／人）



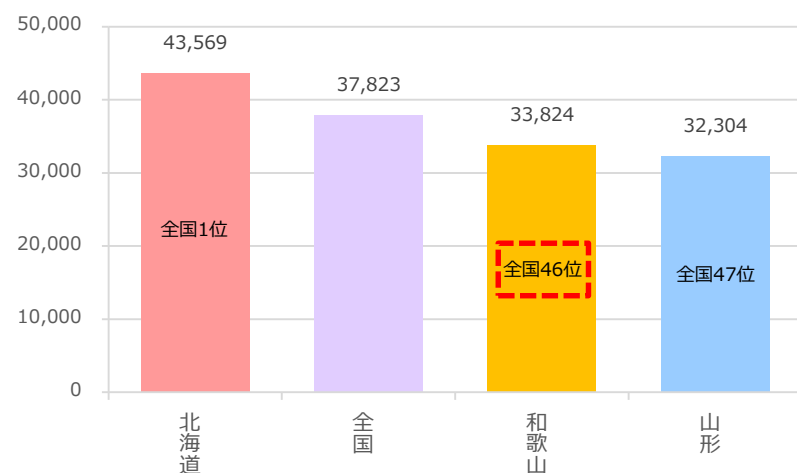
【A】1人当たりの件数（受診率）（単位：件／人）



【B】1件当たりの日数（単位：日／件）



【C】1日当たり医療費（単位：円／日）



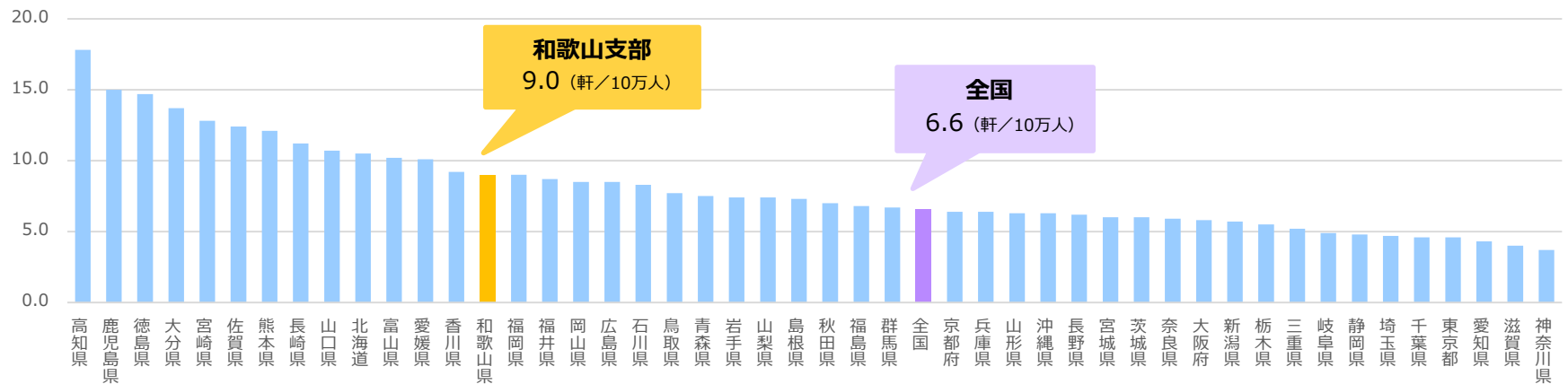
Ⅱ．和歌山県医療提供体制にかかる全国との比較

病院数とその病床数の全国比較（令和元年度）

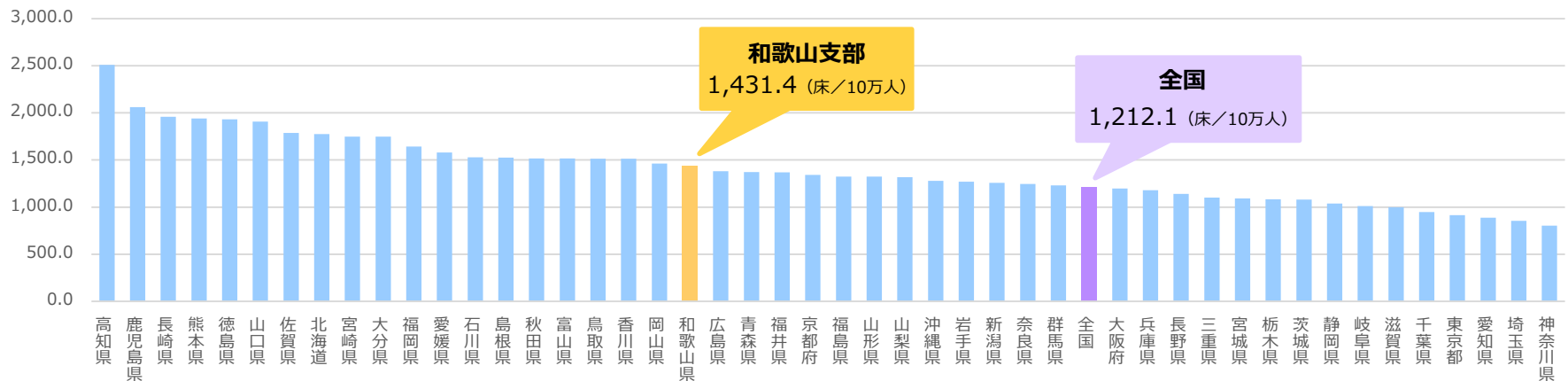
和歌山県は人口に対する病院数は全国14位、病院病床数は全国20位と、どちらも全国と比べて多くなっています。
病院数や病床数が多いと、入院医療費の1件当たりの日数や平均在院日数が多いことに影響します。

〈参考〉病床数上位5県の平均在院日数>高知県：1位、鹿児島県：3位、長崎県：8位、熊本県：5位、徳島県：6位

◆人口10万人対病院数



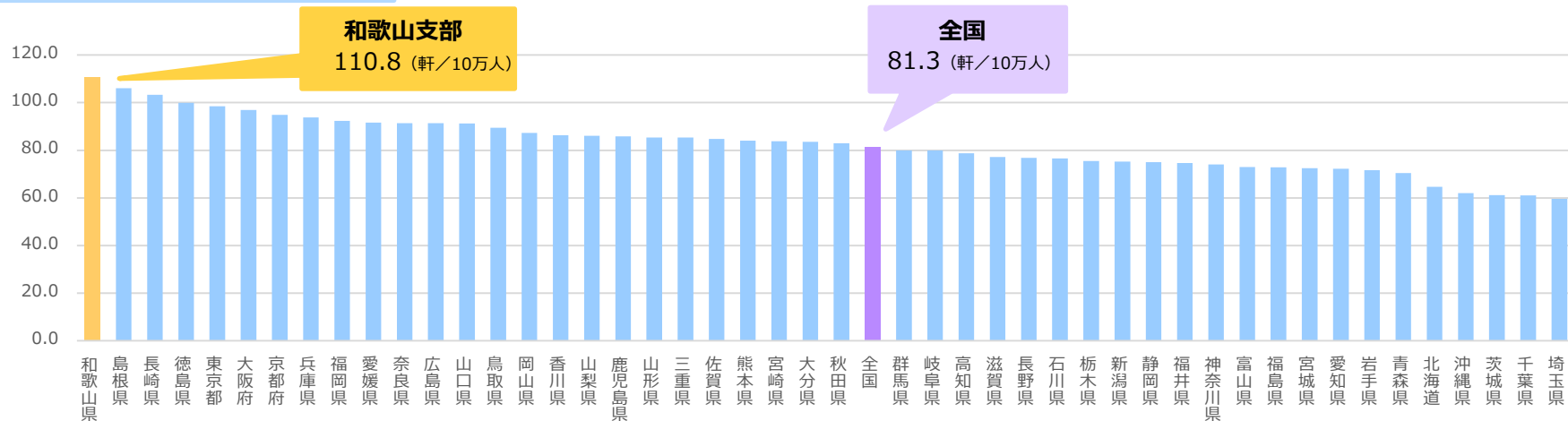
◆人口10万人対病院の病床数



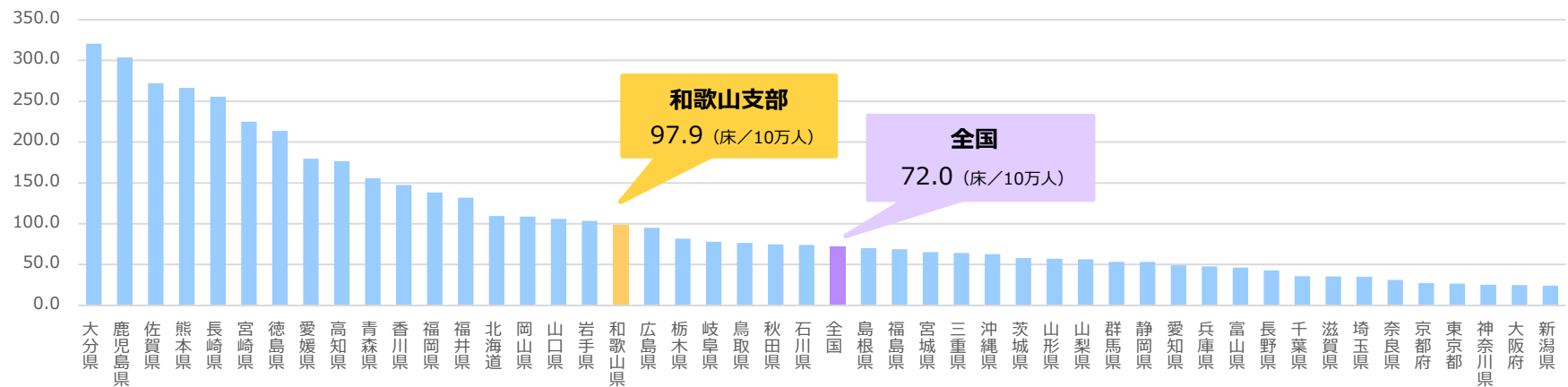
診療所数とその病床数の全国比較（令和元年度）

和歌山県は人口に対する診療所数がとても多く、**全国1位**です。また、診療所病床数も全国と比べて多く、全国18位です。

◆人口10万人対診療所数



◆人口10万人対診療所の病床数

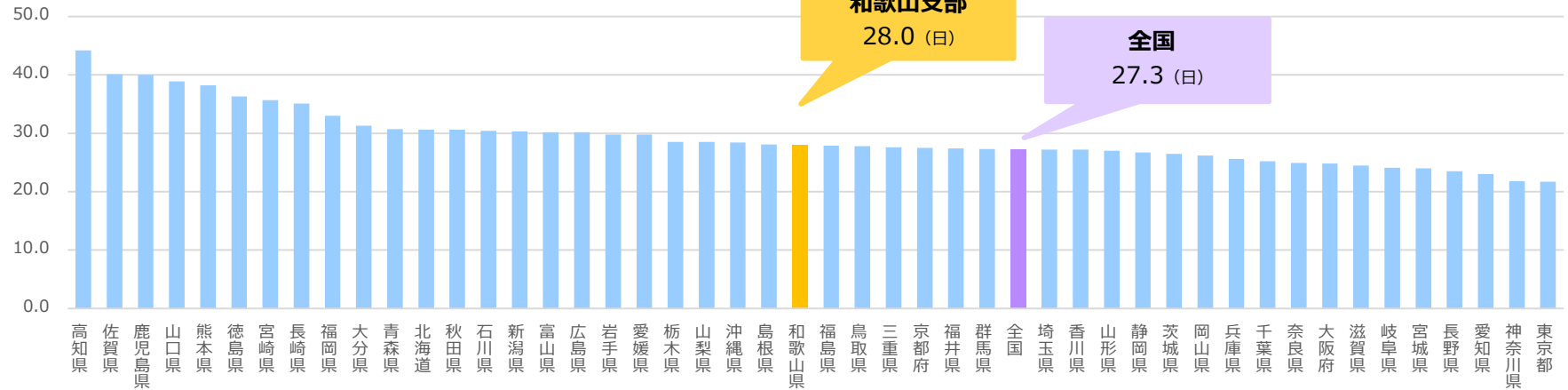


平均在院日数および医師数の全国比較

和歌山県は平均在院日数が全国24位と全国平均よりやや多いです。平均在院日数は、入院医療費において1件あたりの日数が多くなる要因となります。医師数についても、全国9位と高くなっています。

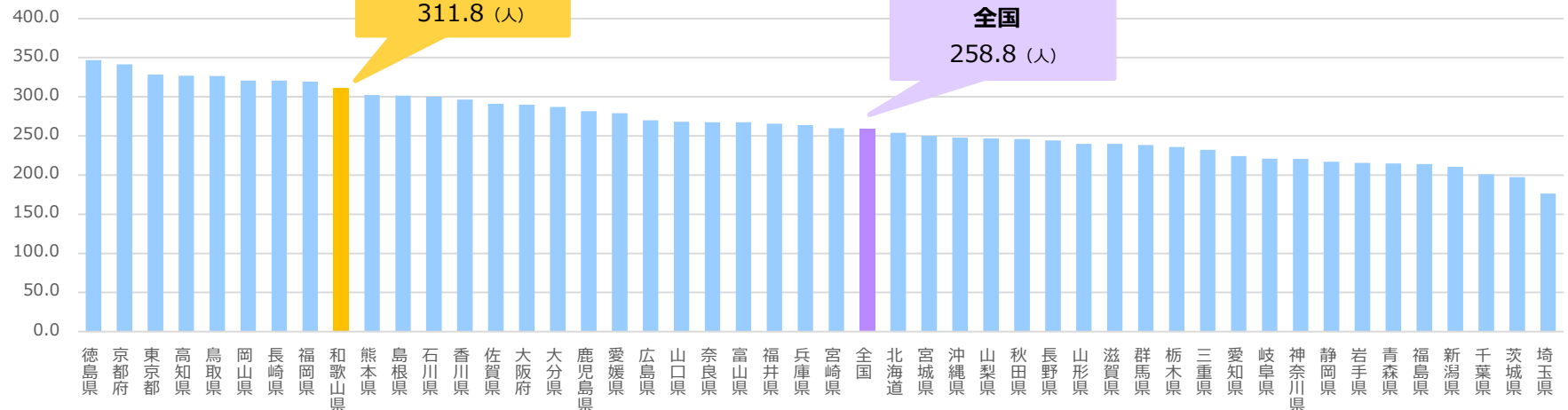
◆平均在院日数

(令和元年度)



◆人口10万人対医師数

(平成30年度)

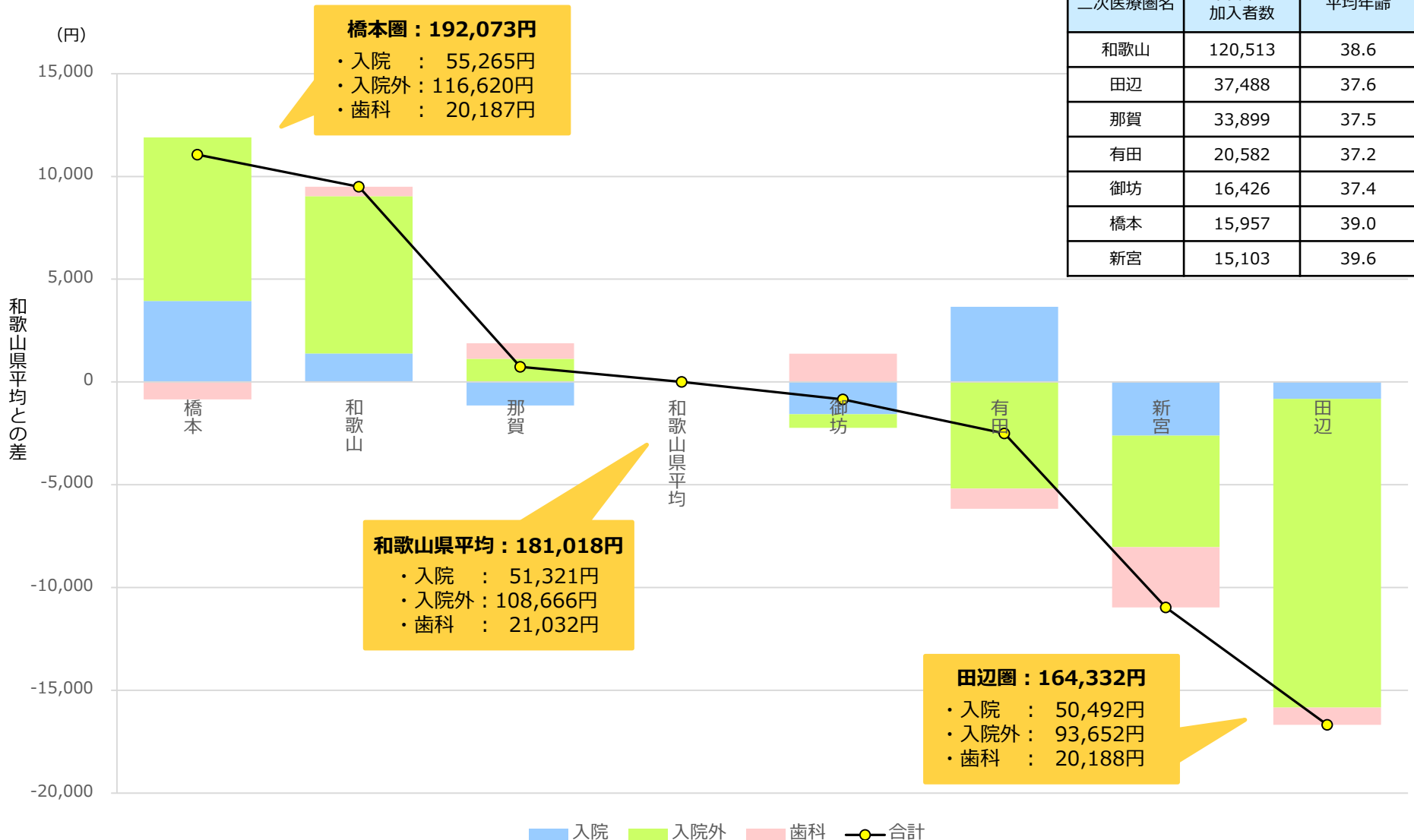


Ⅲ．和歌山支部医療費の県内での比較

和歌山支部加入者1人当たりの二次医療圏別各医療費の比較（令和2年度）

二次医療圏別でみた場合、1人あたりの入院医療費は橋本・有田圏域が高く、新宮圏域が低い傾向です。
 入院外医療費は、橋本・和歌山圏域が高く、田辺圏域が特に低くなっています。
 ※被保険者の住所地ベースですので、県外在住の方は除いています。

二次医療圏名	年度平均加入者数	平均年齢
和歌山	120,513	38.6
田辺	37,488	37.6
那賀	33,899	37.5
有田	20,582	37.2
御坊	16,426	37.4
橋本	15,957	39.0
新宮	15,103	39.6



和歌山支部加入者1人当たりの市町別各医療費の比較（令和2年度）

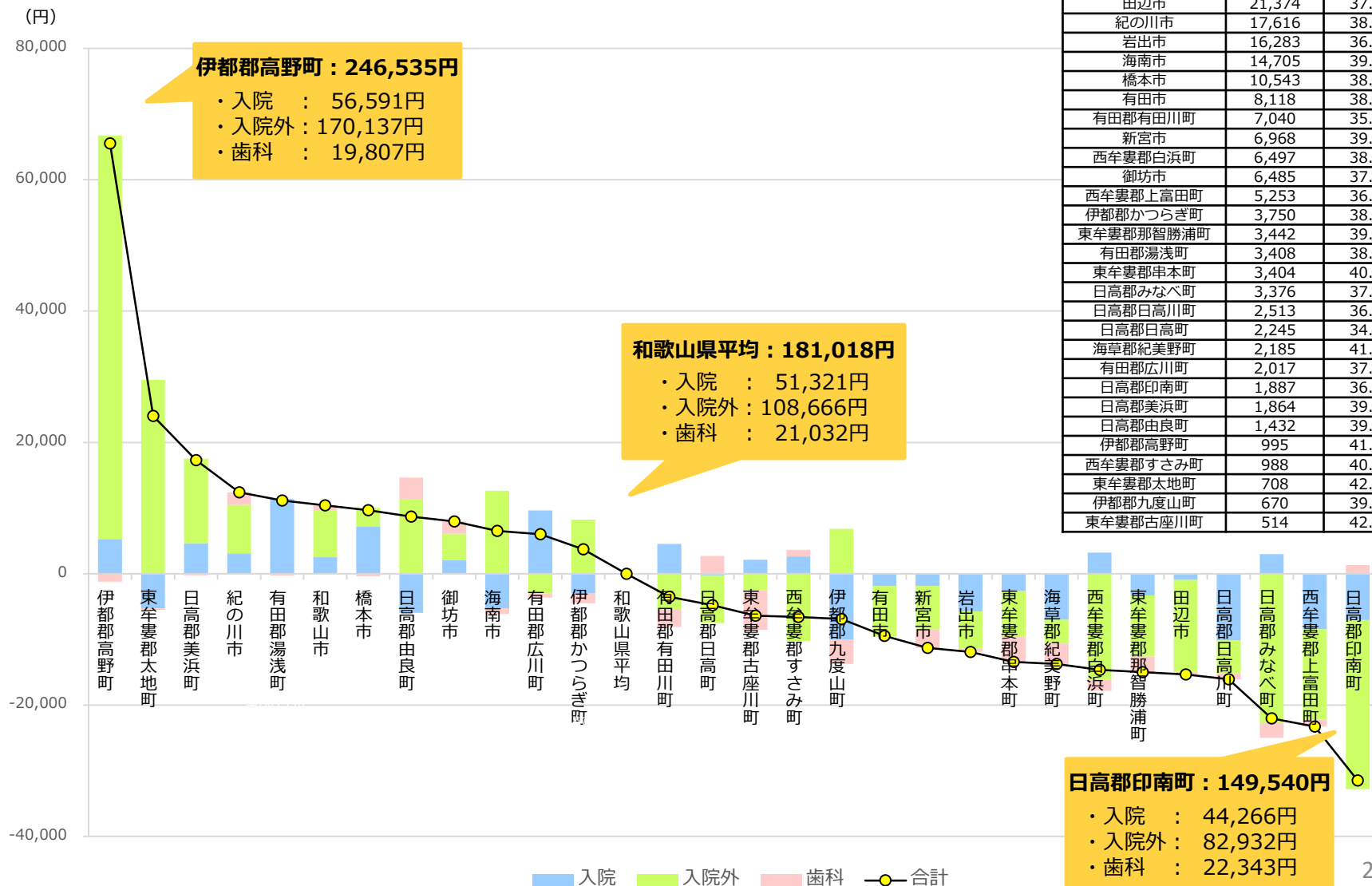
市町別でみた場合、1人あたりの医療費は高いほうから、高野町、太地町、美浜町の順になっています。

ただし、加入者数が少ない市町は、一人でも高額な医療費を受けた場合、その影響が全体に及びやすい傾向があります。紀の川市、和歌山市、橋本市と、県の北側に所在する市で医療費が高い傾向にあることがわかります。

※被保険者の住所地ベースですので、県外在住の方は除いています。

市町名	年度平均加入者数	平均年齢
和歌山市	103,623	38.5
田辺市	21,374	37.7
紀の川市	17,616	38.1
岩出市	16,283	36.8
海南市	14,705	39.0
橋本市	10,543	38.8
有田市	8,118	38.1
有田郡有田川町	7,040	35.5
新宮市	6,968	39.1
西牟婁郡白浜町	6,497	38.1
御坊市	6,485	37.8
西牟婁郡上富田町	5,253	36.4
伊都郡かつらぎ町	3,750	38.9
東牟婁郡那智勝浦町	3,442	39.5
有田郡湯浅町	3,408	38.1
東牟婁郡串本町	3,404	40.0
日高郡みなべ町	3,376	37.0
日高郡日高川町	2,513	36.2
日高郡日高町	2,245	34.8
海草郡紀美野町	2,185	41.0
有田郡広川町	2,017	37.9
日高郡印南町	1,887	36.9
日高郡美浜町	1,864	39.5
日高郡由良町	1,432	39.4
伊都郡高野町	995	41.6
西牟婁郡すさみ町	988	40.2
東牟婁郡太地町	708	42.0
伊都郡九度山町	670	39.8
東牟婁郡古座川町	514	42.0

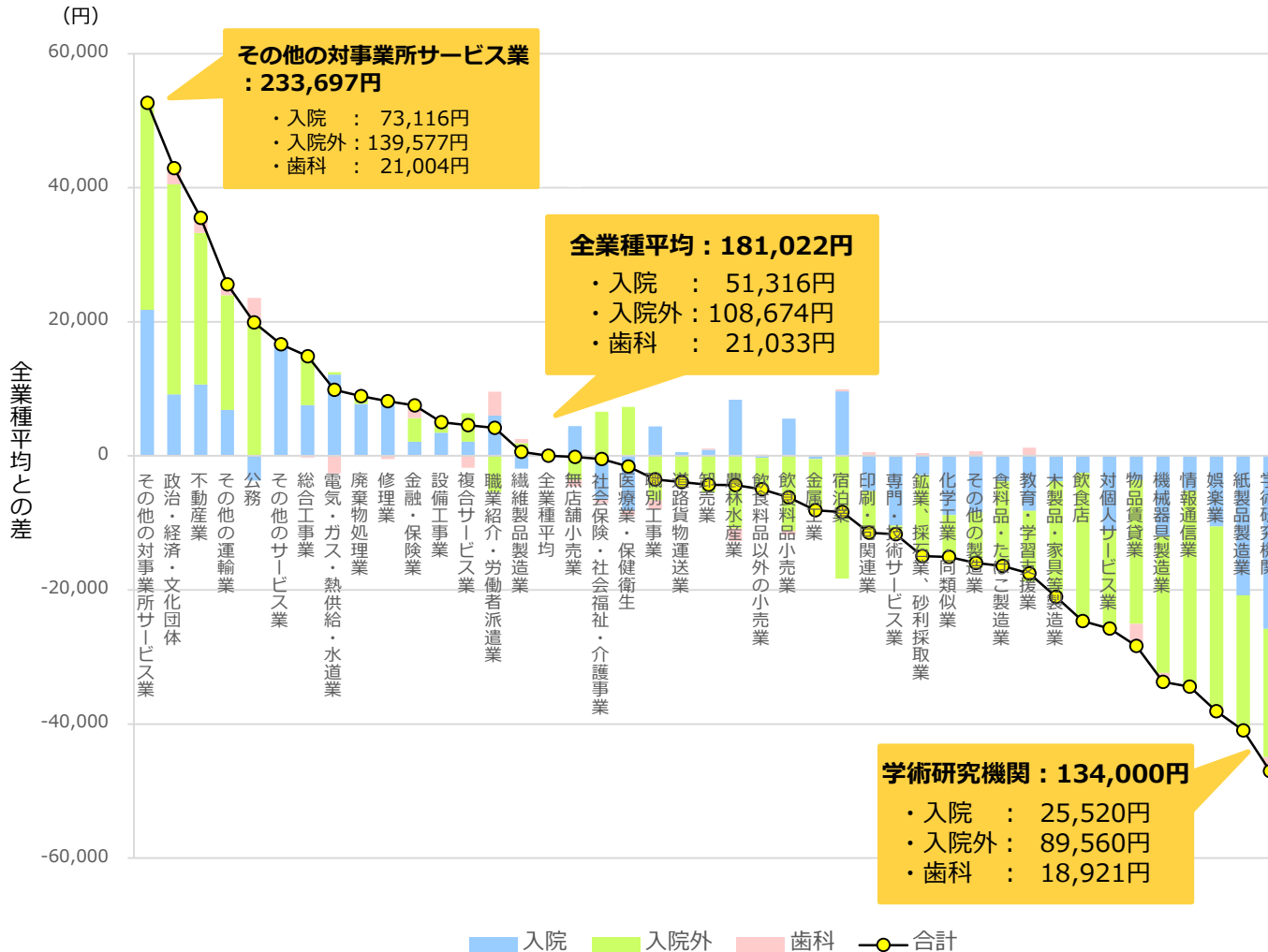
和歌山県平均との差



和歌山支部加入者1人当たりの事業所業態区分別各医療費の比較（令和2年度）

事業所の業態別に1人当たり医療費の比較をしたグラフです。事業所業態区分でみた場合、1人あたりの医療費は高いほうから、その他の対事業所サービス業、政治・経済・文化団体、不動産業の順となっています。

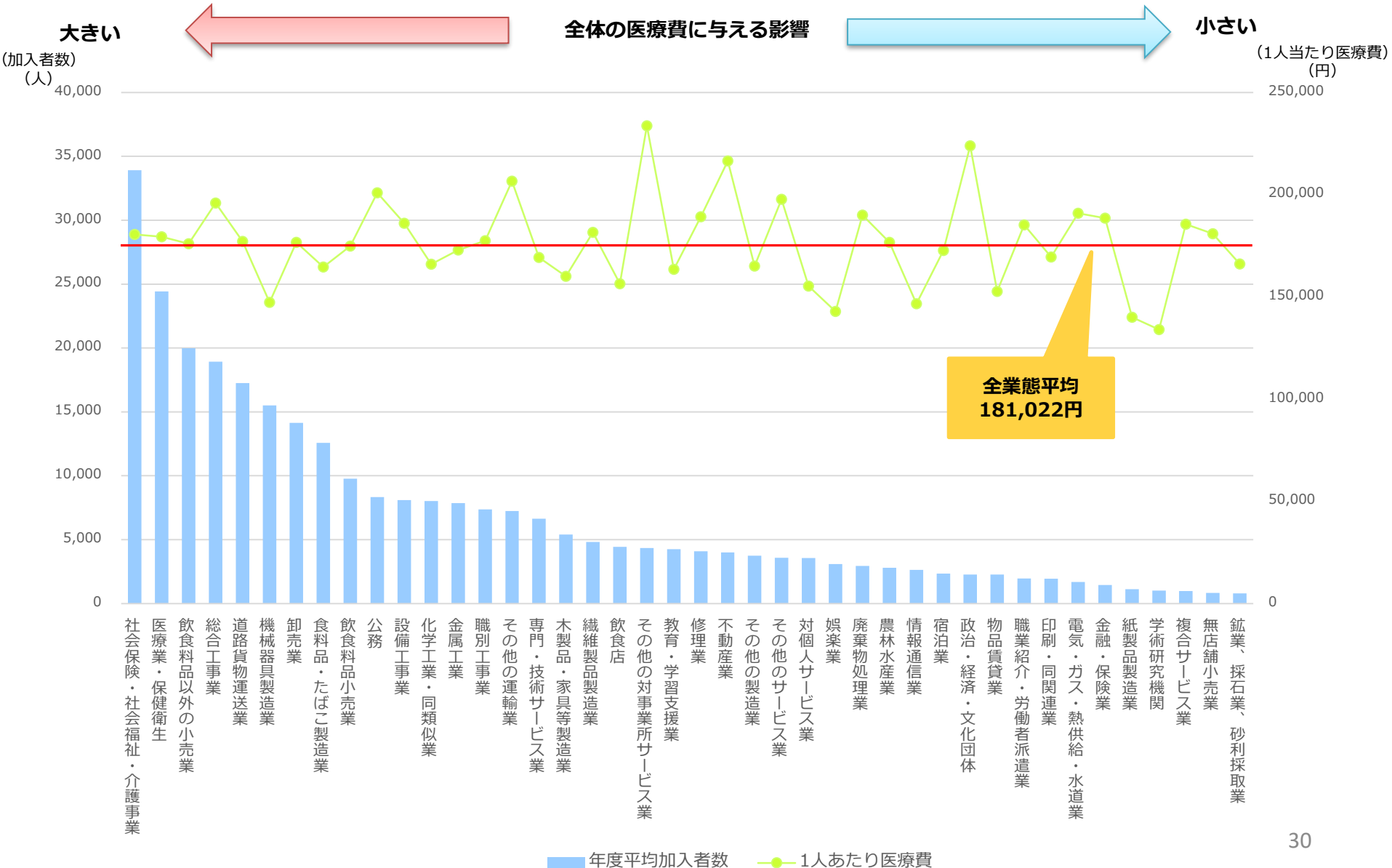
ただし、加入者数が少ない業態区分では、一人でも高額な医療費を受けた場合、その影響が全体に及びやすい傾向があります。
※事業所ベースですので、任意継続の方は除いています。



業態区分名称	年度平均加入者数	平均年齢
社会保険・社会福祉・介護事業	33,915	37.2
医療業・保健衛生	24,421	35.8
飲食料品以外の小売業	19,992	40.2
総合工事業	18,928	37.7
道路貨物運送業	17,258	38.1
機械器具製造業	15,511	35.2
卸売業	14,146	37.4
食料品・たばこ製造業	12,581	37.6
飲食料品小売業	9,777	37.9
公務	8,334	46.6
設備工事業	8,087	36.4
化学工業・同類似業	8,015	36.5
金属工業	7,857	36.3
職別工事業	7,372	35.7
その他の運輸業	7,238	42.5
専門・技術サービス業	6,631	38.0
木製品・家具等製造業	5,404	37.0
繊維製品製造業	4,810	40.2
飲食店	4,430	36.7
その他の対事業所サービス業	4,338	45.8
教育・学習支援業	4,253	38.0
修理業	4,084	37.2
不動産業	3,988	40.5
その他の製造業	3,745	38.7
その他のサービス業	3,574	39.0
対個人サービス業	3,552	37.1
娯楽業	3,083	35.9
廃棄物処理業	2,933	37.4
農林水産業	2,799	37.7
情報通信業	2,635	35.5
宿泊業	2,341	40.7
政治・経済・文化団体	2,270	44.0
物品賃貸業	2,269	34.6
職業紹介・労働者派遣業	1,958	42.2
印刷・同関連業	1,943	37.2
電気・ガス・熱供給・水道業	1,688	37.2
金融・保険業	1,454	38.4
紙製品製造業	1,117	35.3
学術研究機関	1,005	33.8
複合サービス業	975	42.1
無店舗小売業	824	35.6
鉱業・採石業・砂利採取業	790	36.9

和歌山支部加入者1人当たりの事業所業態区分別各医療費の比較（令和2年度）

前項でお示ししました事業所業態区分別の1人あたり医療費のグラフを年度平均加入者数の多い順に左から並べ替えています。こうすることで、各業態の医療費が全体の医療費にどの程度の影響を与えているかがわかります。加入者数が多い業態の社会保険・社会福祉・介護事業、医療業・保健衛生、飲食料品以外の小売業、総合工事業で一人当たり医療費が高く、全体の医療費に大きく影響を与える結果となっています。 ※事業所ベースですので、任意継続の方は除いています。



IV. 和歌山支部健診結果データの全国との比較

リスク保有率とは

リスク保有率とは、健診結果をもとに、下表の基準に該当する健診受診者の割合を示したものです。
リスク保有率が高いほど、生活習慣病にかかる可能性が高いといわれています。

◆リスク保有率とは

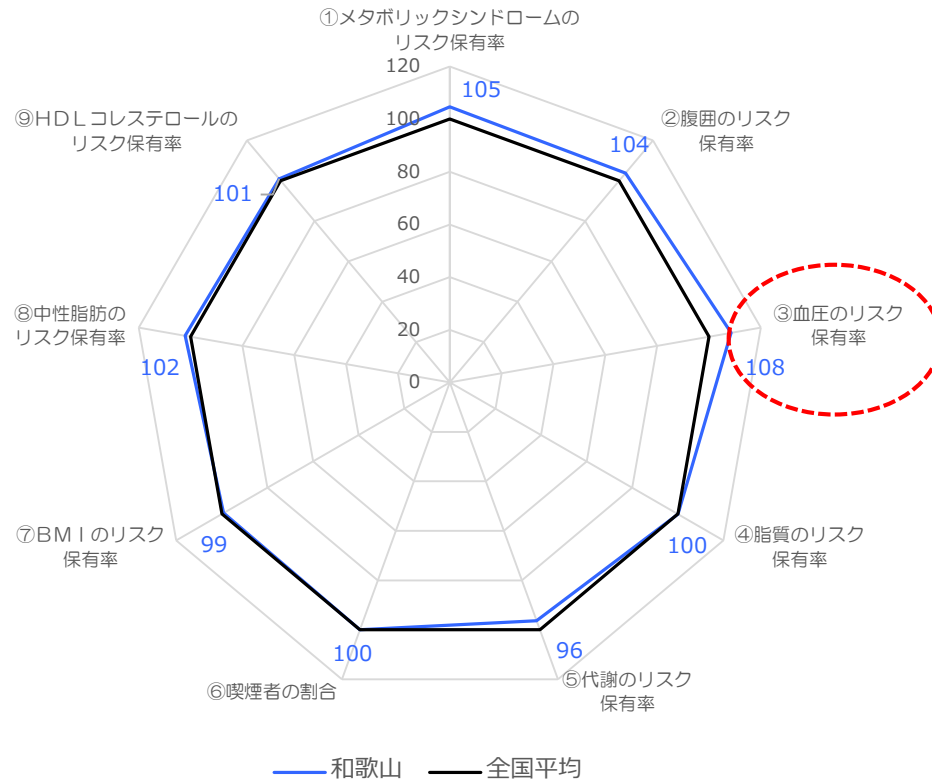
①メタボリックシンドロームのリスク保有率	・ ②かつ③～⑤のうち2項目以上に該当
②腹囲のリスク保有率	・ 内臓脂肪面積が100cm ² 以上 ・ 内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
③血圧のリスク保有率	・ 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
④脂質のリスク保有率	・ 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり
⑤代謝のリスク保有率	・ 空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・ 空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
⑥喫煙者の割合	・ 喫煙あり
⑦BMIのリスク保有率	・ BMI25以上
⑧中性脂肪のリスク保有率	・ 中性脂肪150mg/dl以上
⑨HDLコレステロールのリスク保有率	・ HDLコレステロール40mg/dl未満

➤ 上記のリスク保有基準を踏まえ、次ページから各項目のリスク保有率についてみてみましょう。

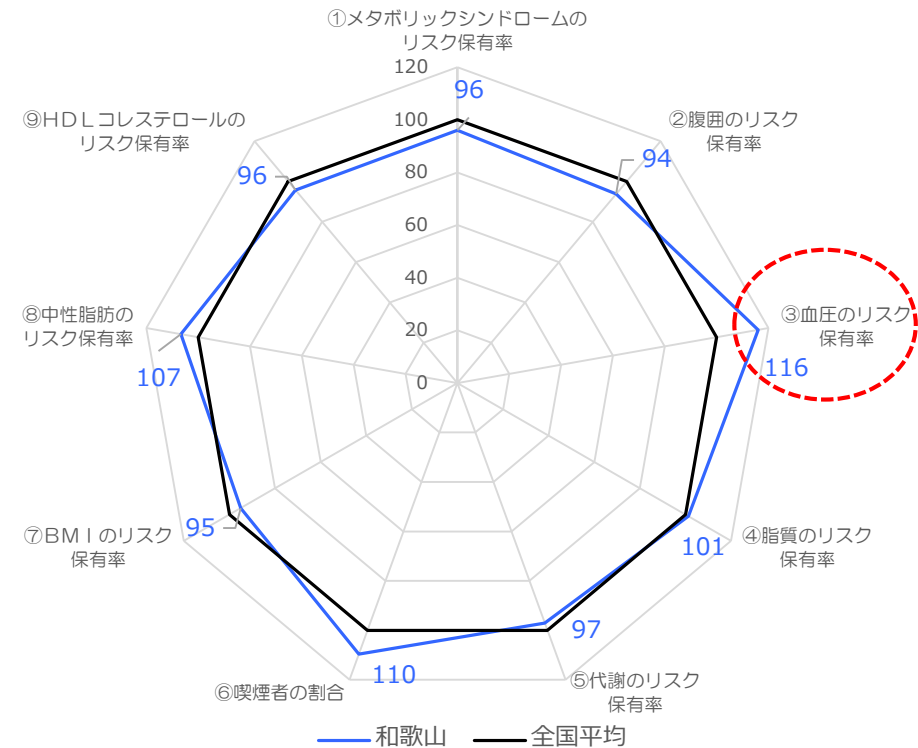
各種リスク保有率の全国比較（令和元年度）

健診結果データをもとに各種リスク保有率を算出し、全国を100とした場合（下図の黒線）、和歌山支部は下図の青線になります。
男女ともに血圧リスク保有率がとても高い傾向にあります。

男性



女性

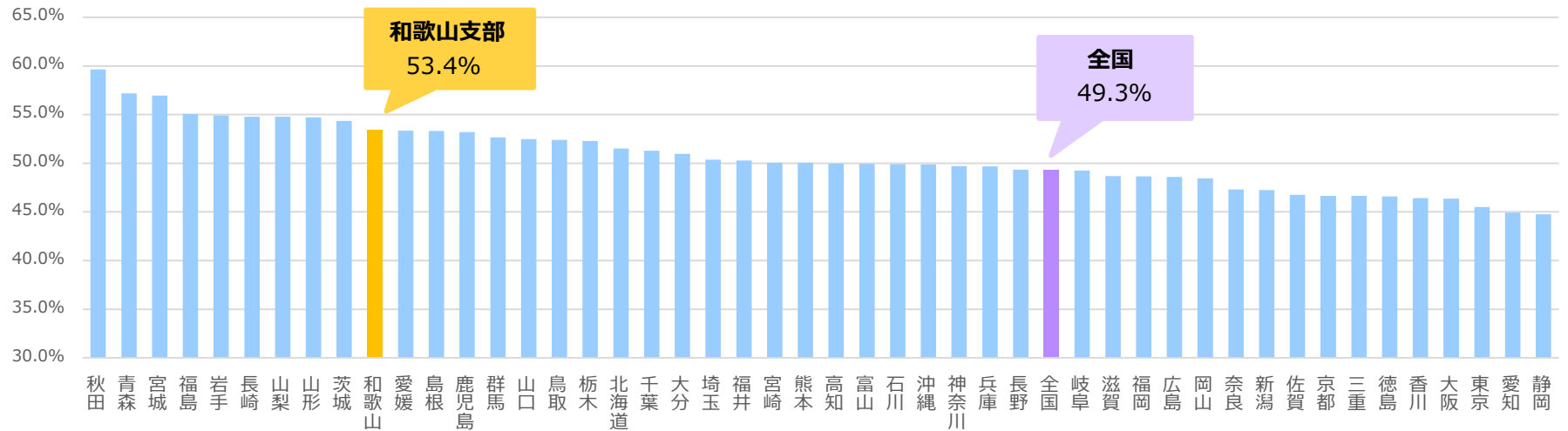


➤次ページから血圧リスク保有率について、詳しくみてみましょう。

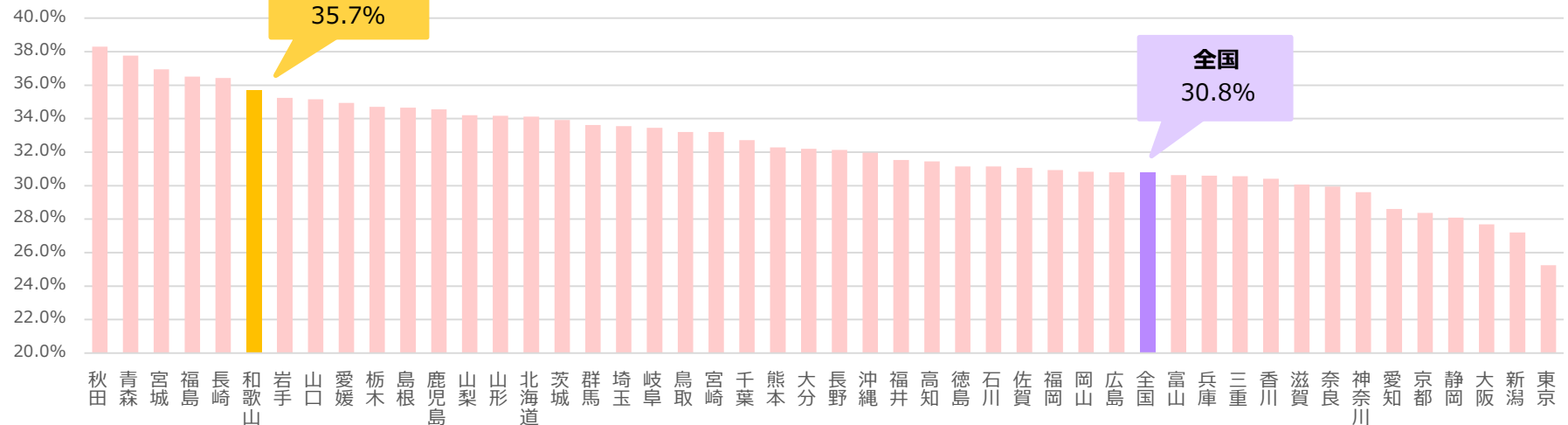
血圧リスク保有率の全国比較（令和元年度）

血圧リスク保有率について、和歌山支部は**男性は全国10位、女性は全国6位**と高い水準にあります。

男性



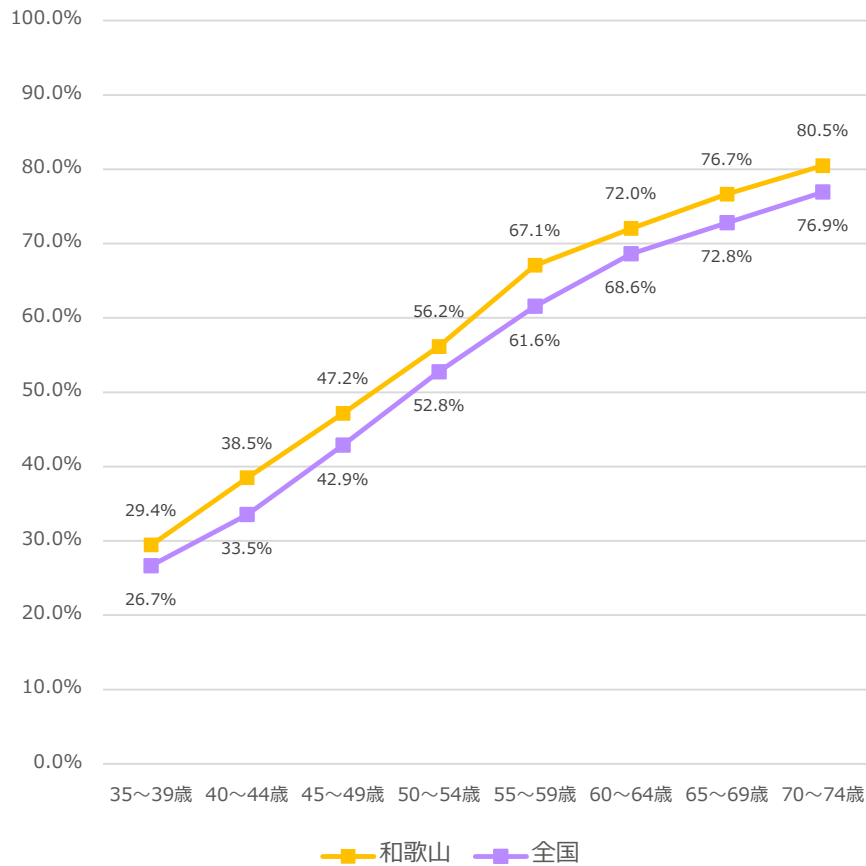
女性



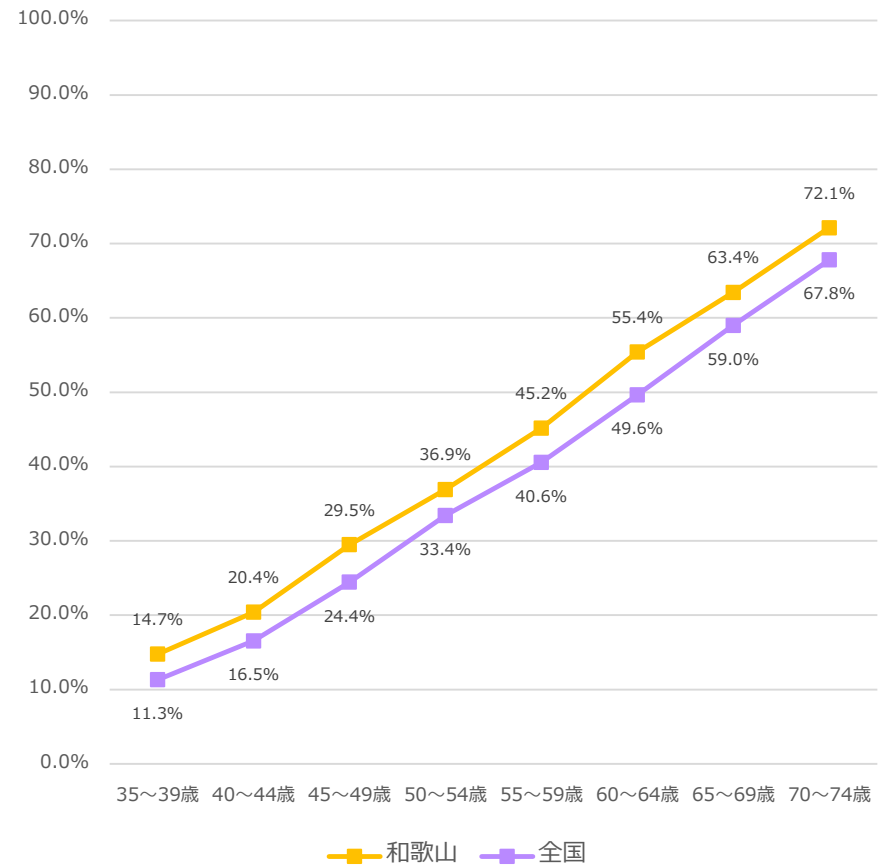
血圧リスク保有率の年齢階級別比較（令和元年度）

血圧リスク保有率について、和歌山支部は全国平均よりも高い傾向にあり、協会けんぽの健診の対象となる35歳の時点で、すでに全国より血圧リスク保有者の割合が高い状況です。

男性



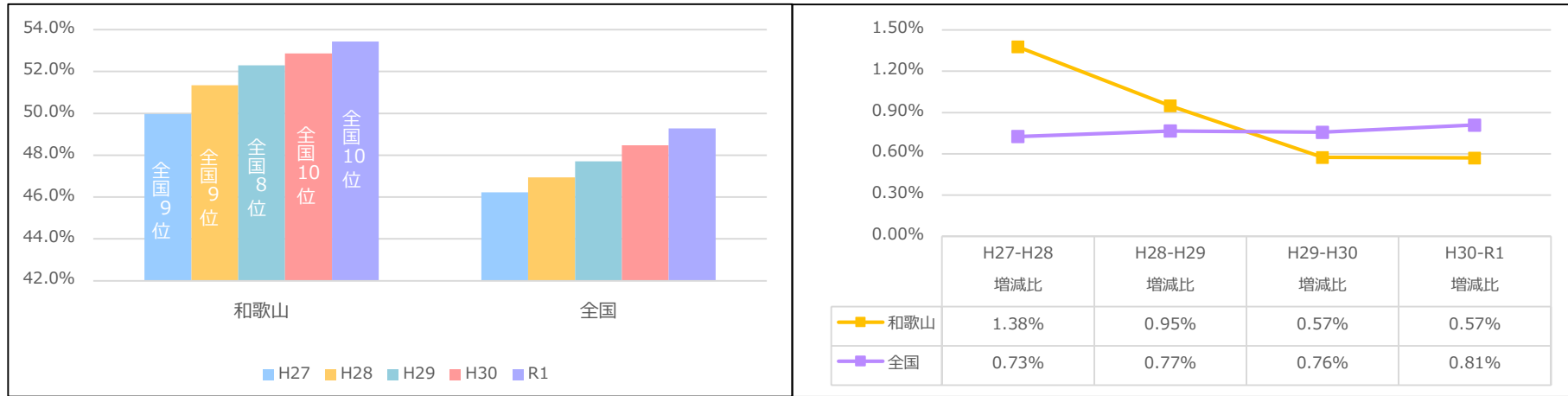
女性



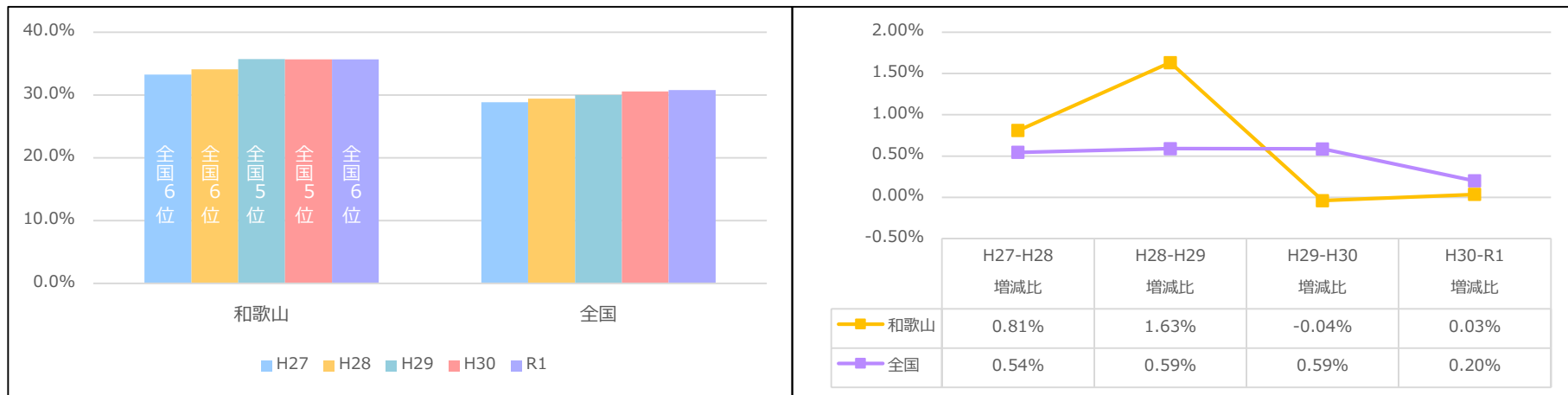
和歌山支部血圧リスク保有率の経年変化

血圧リスク保有率について、和歌山支部は男女とも全国平均より高い水準にありますが、伸びは全国に比べて緩やかな状況です。男性の伸び幅は減少しており、女性については平成29年度以降、伸びはなくほぼ横ばいとなっています。

男性



女性

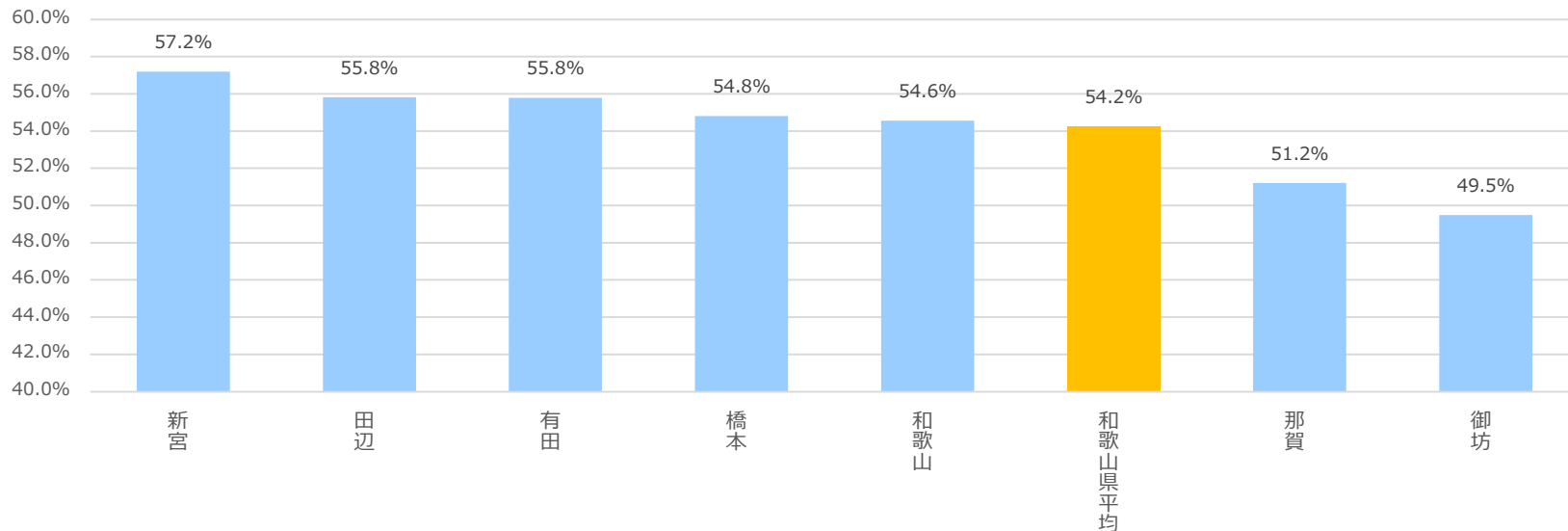


V. 和歌山支部健診結果データの県内での比較

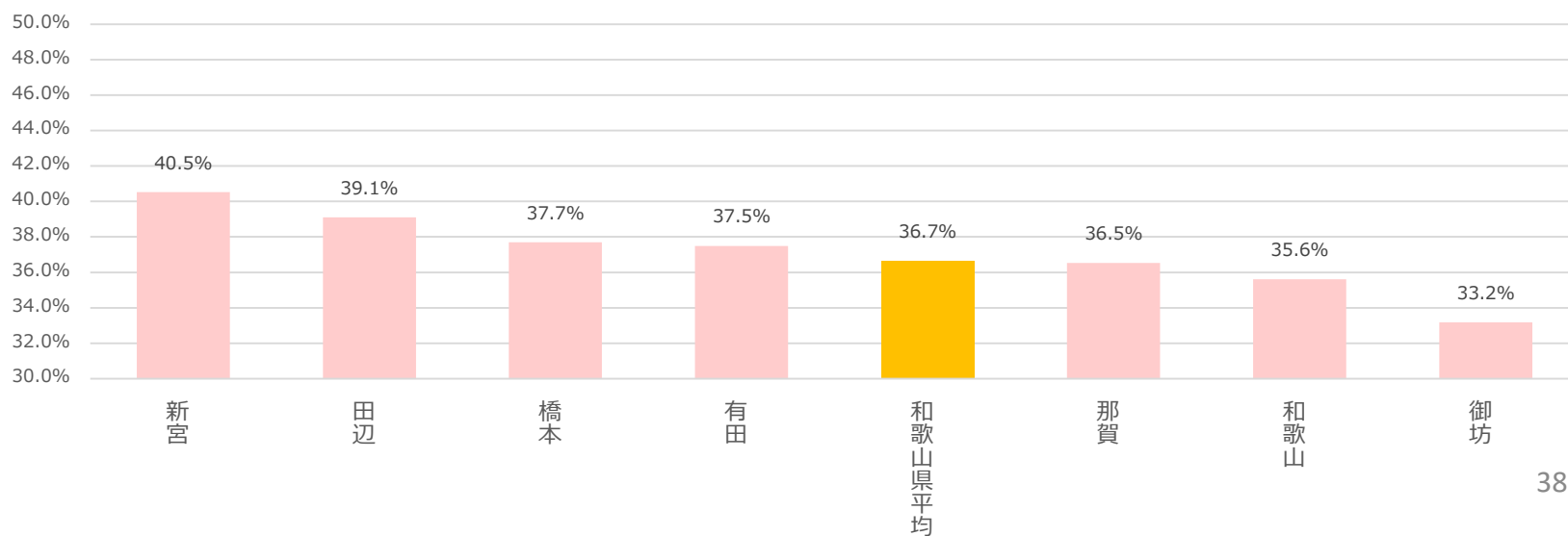
血圧リスク保有率の二次医療圏別比較（令和元年度）

男女とも新宮・田辺圏域が高いことがわかります。一方、御坊圏域は男女ともに低い状況です。

男性



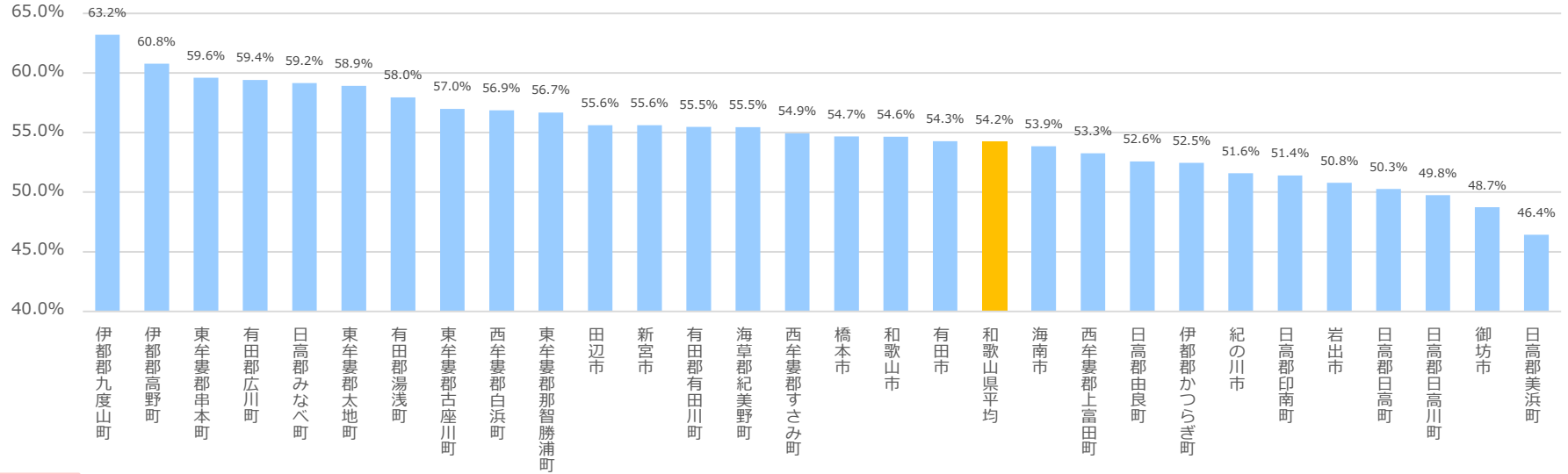
女性



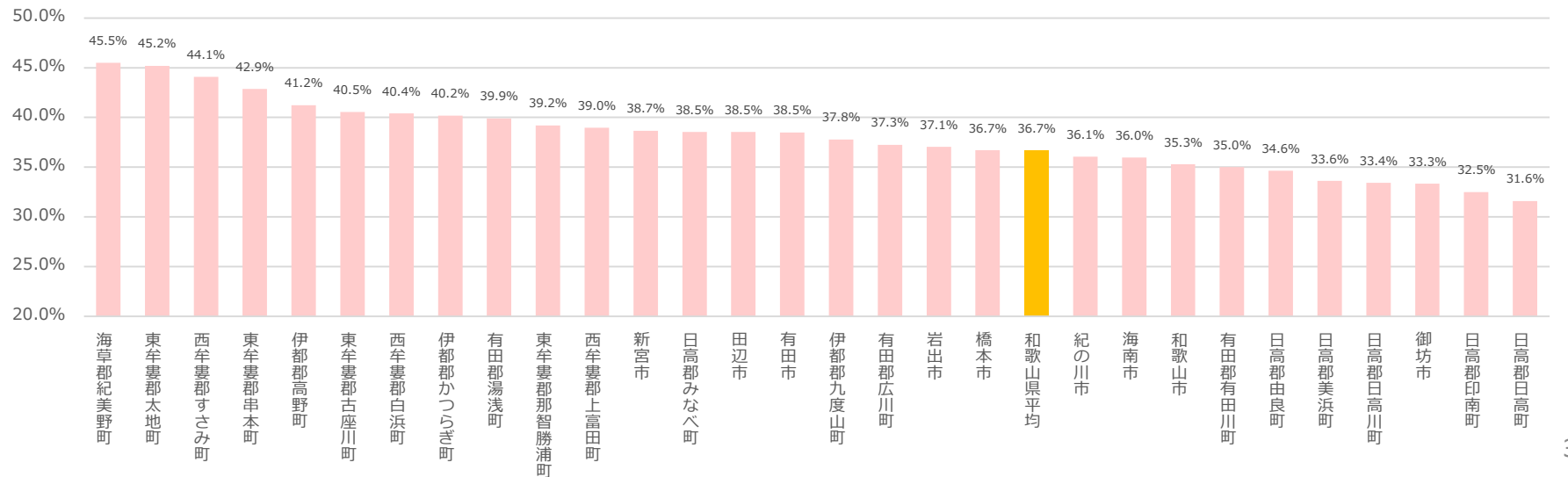
血圧リスク保有率の市町別比較（令和元年度）

男性は九度山町、高野町、女性は紀美野町、太地町が高くなっています。

男性



女性



健診受診時の質問票（問診票）

生活習慣病予防健診等の特定健診受診時に質問票（問診票）として、以下の共通項目の回答をいただいています。これにより、当日の健診結果に加えて、受診者の服薬歴・病歴・生活習慣等の把握が可能になります。

	質問項目	回答
	現在、aからcの薬の使用の有無	
1	a. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ
2	b. 血糖を下げる薬又はインスリン注射	①はい ②いいえ
3	c. コレステロールや中性脂肪を下げる薬	①はい ②いいえ
4	医師から、脳卒中（脳出血、脳梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
5	医師から、心臓病（狭心症、心筋梗塞等）にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ
6	医師から、慢性腎臓病や腎不全にかかっているといわれたり、治療（人工透析など）を受けていますか。	①はい ②いいえ
7	医師から貧血といわれたことがある。	①はい ②いいえ
8	現在、たばこを習慣的に吸っている。 ※（「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者）	①はい ②いいえ
9	20歳の時の体重から、10kg以上増加している。	①はい ②いいえ
10	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	①はい ②いいえ
11	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施	①はい ②いいえ
12	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ

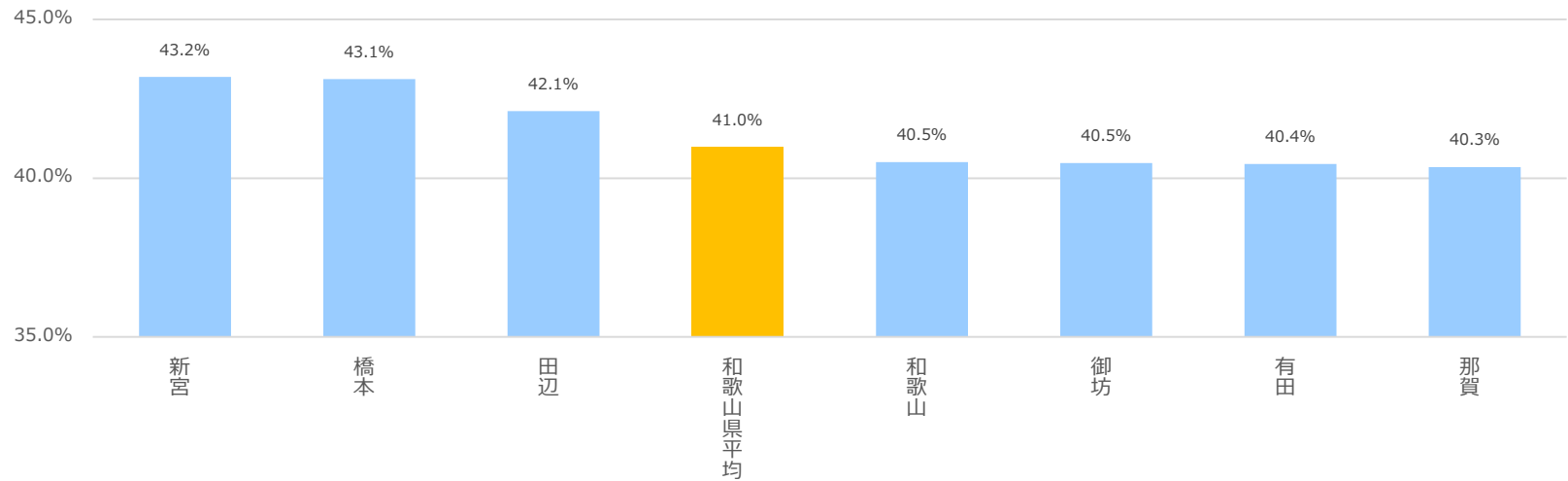
	質問項目	回答
13	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	①何でもかんで食べることができる ②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある ③ほとんどかめない
14	人と比較して食べる速度が速い。	①速い ②ふつう ③遅い
15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある	①はい ②いいえ
16	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	①毎日 ②時々 ③ほとんど摂取しない
17	朝食を抜くことが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
18	お酒（日本酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲む頻度	①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない（飲めない）
19	飲酒日の1日当たりの飲酒量 日本酒1合（180ml）の目安：ビール500ml、焼酎（25度）110ml、ウイスキーダブル1杯（60ml）、ワイン2杯（240ml）	①1合未満 ②1～2合未満 ③2～3合未満 ④3合以上
20	睡眠で休養が十分とれている。	①はい ②いいえ
21	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。	①改善するつもりはない ②改善するつもりである（概ね6か月以内） ③近いうちに（概ね1か月以内）改善するつもりであり、少しずつ始めている ④既に改善に取り組んでいる（6か月未満） ⑤既に改善に取り組んでいる（6か月以上）
22	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか。	①はい ②いいえ

➤ 上記の質問項目のうち、生活習慣の改善が必要となる主な5つの項目についての県内比較をみてみましょう。

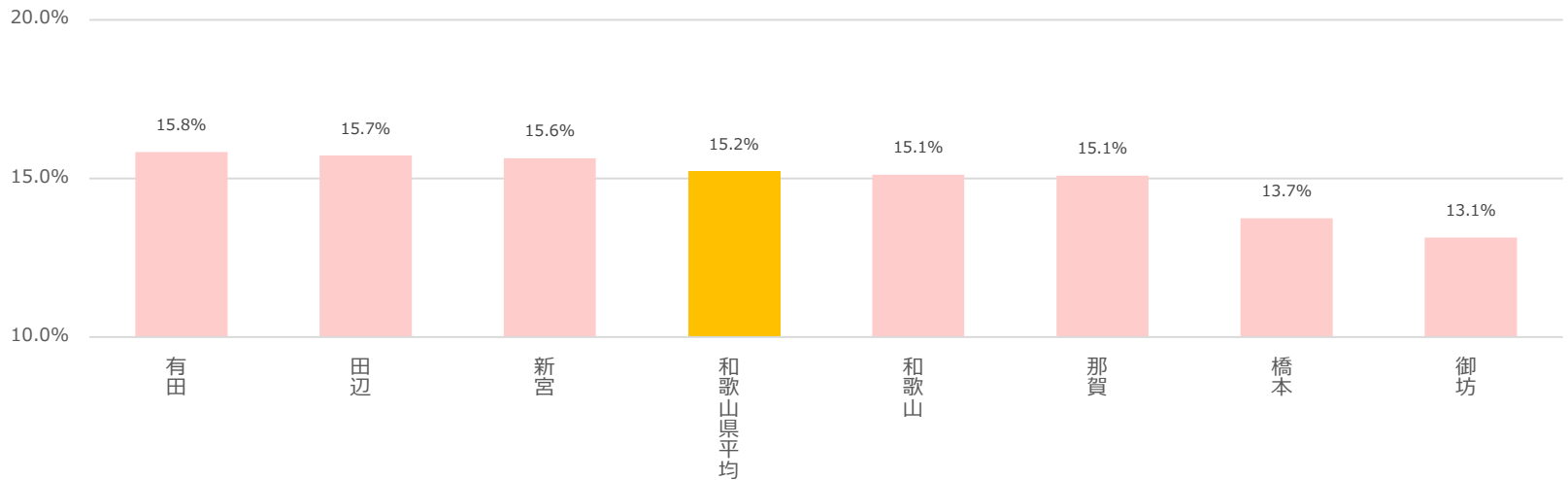
喫煙率の二次医療圏別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「煙草を習慣的に吸っている」と答えた方の割合です。
男女とも新宮・田辺圏域が和歌山県平均より高くなっています。

男性



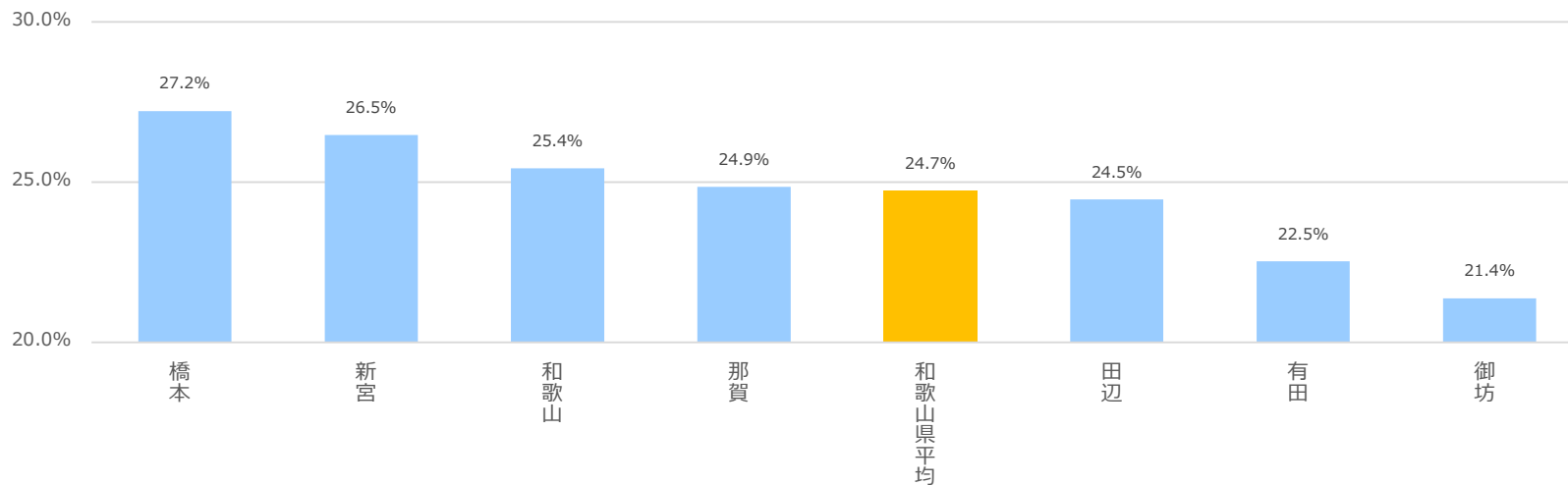
女性



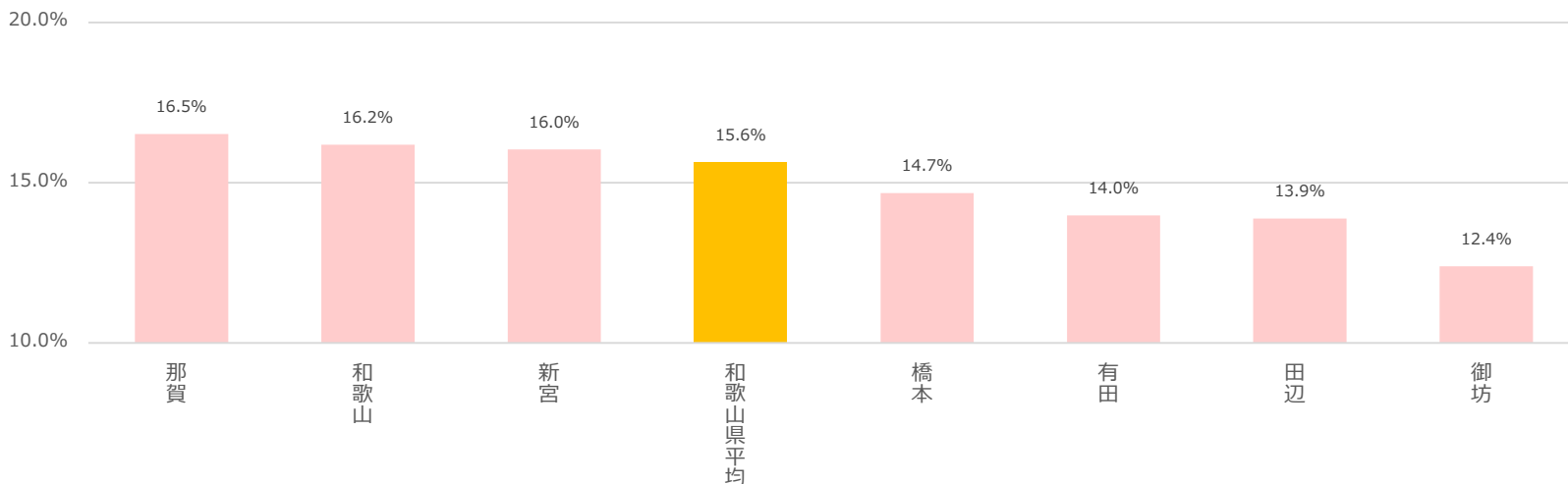
運動習慣の二次医療圏別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実践している」と答えた方の割合です。
男女とも、御坊・田辺・有田圏域が和歌山県平均より低くなっており、運動習慣があると感じている方の割合が少ないことがわかります。

男性



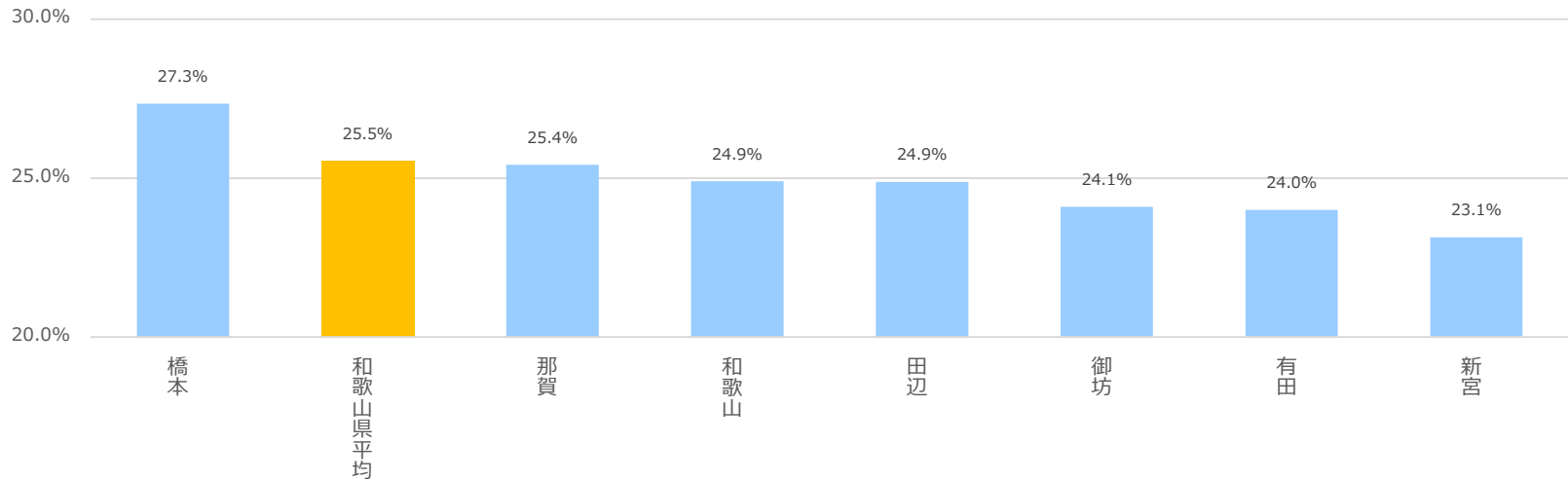
女性



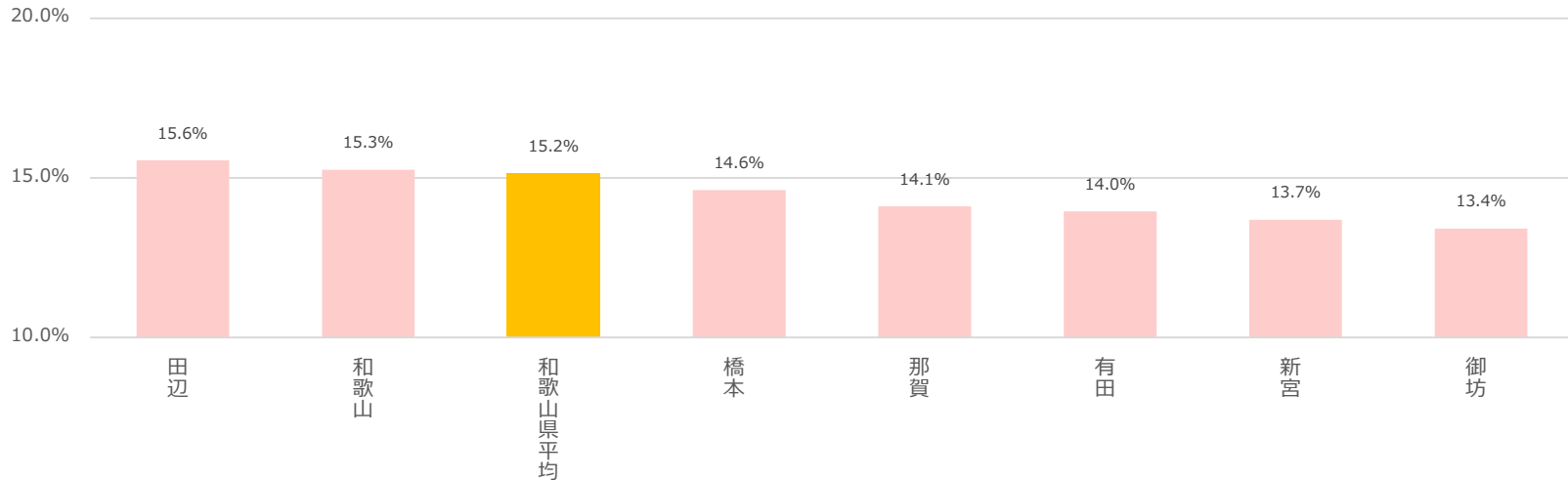
朝食欠食の二次医療圏別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「朝食を抜くことが週3回以上ある」と答えた方の割合です。
男性は橋本圏域、女性は田辺、和歌山圏域で和歌山県平均より高くなっています。

男性



女性

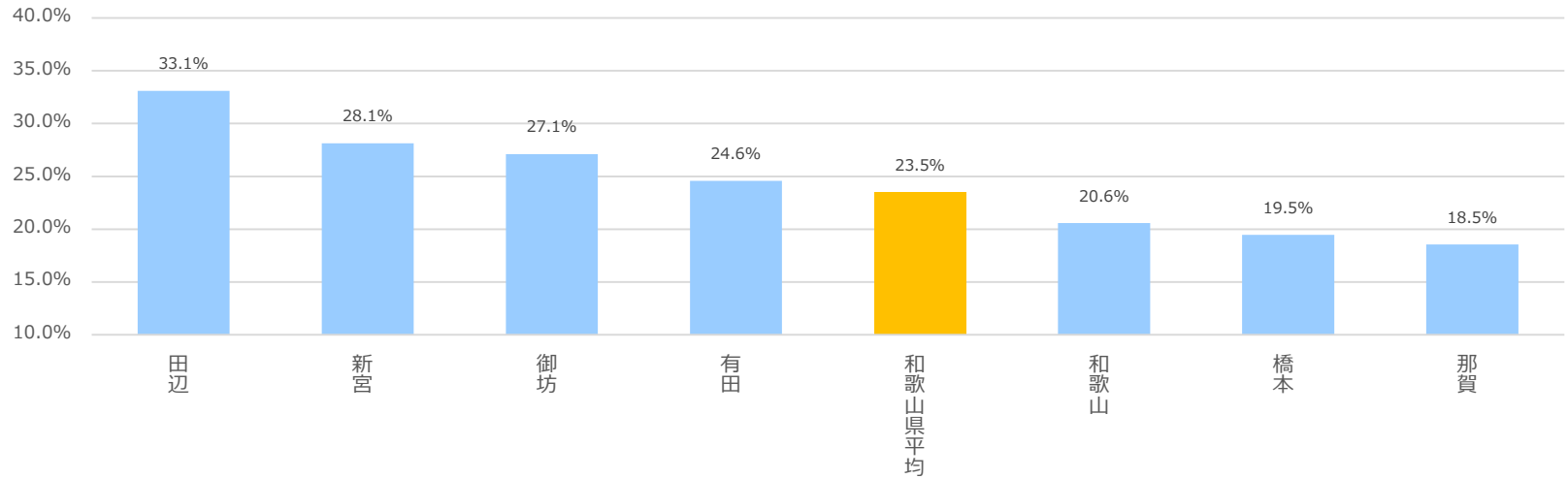


飲酒量の二次医療圏別比較（令和元年度）

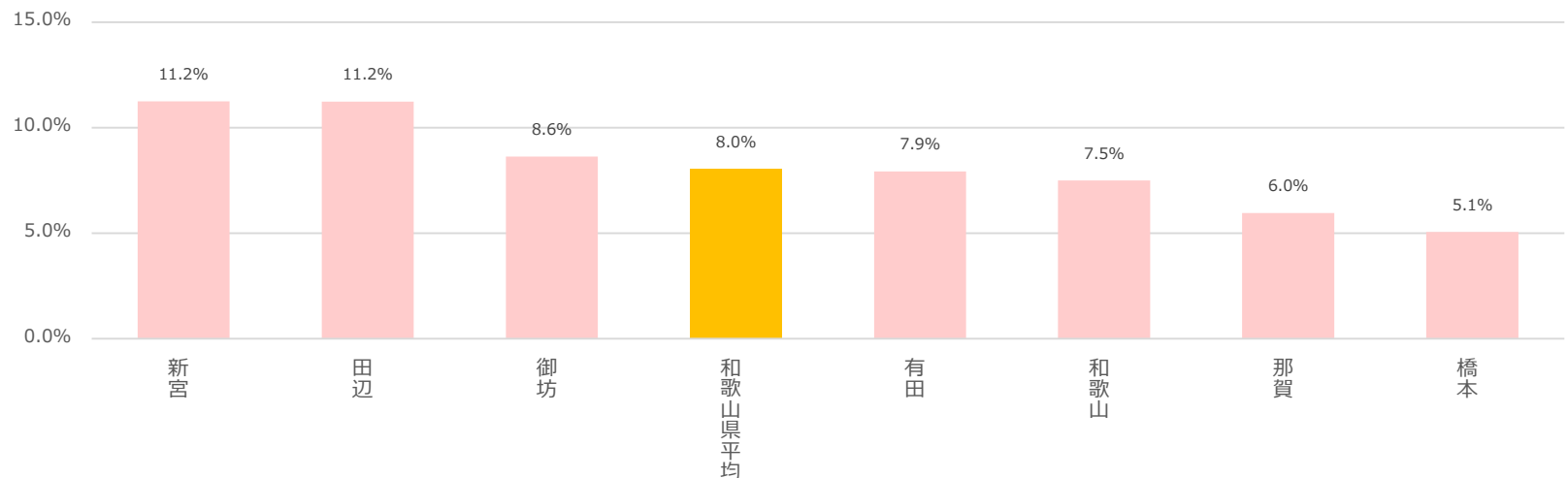
健診時の問診票の回答で、「飲酒日の1日当たりの飲酒量が日本酒2合相当分以上」と答えた方の割合です。

男女とも、田辺・新宮・御坊圏域が和歌山県平均より高くなっており、県の南側で飲酒量が多いと自覚される方の割合が多いことがわかります。

男性



女性

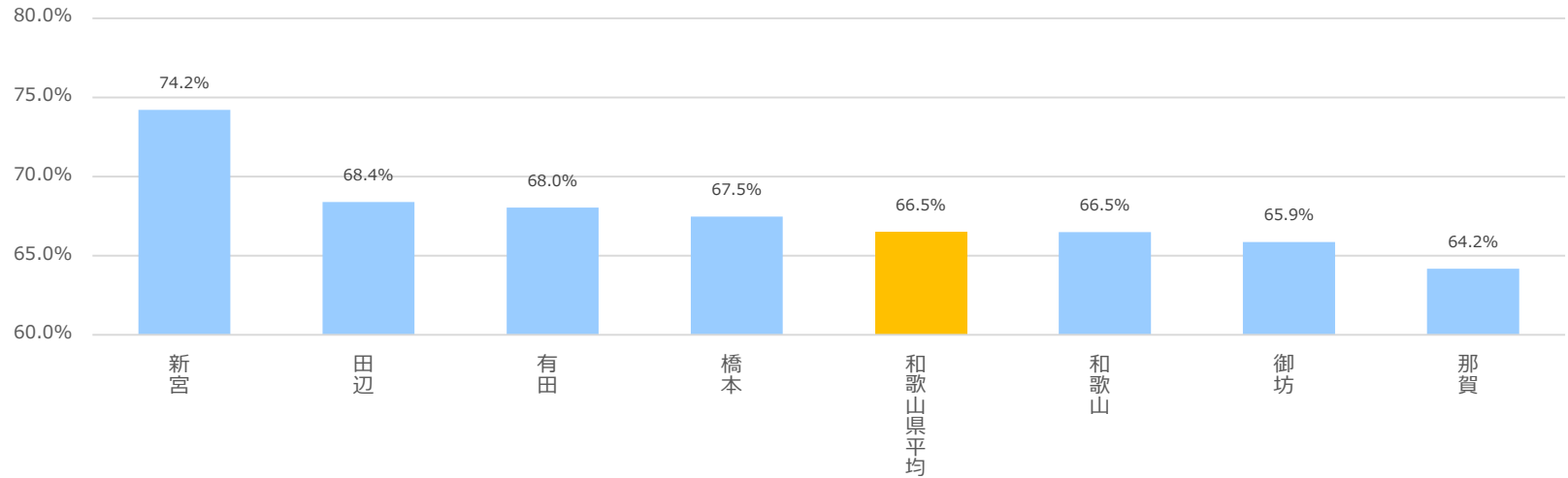


睡眠状況の二次医療圏別比較（令和元年度）

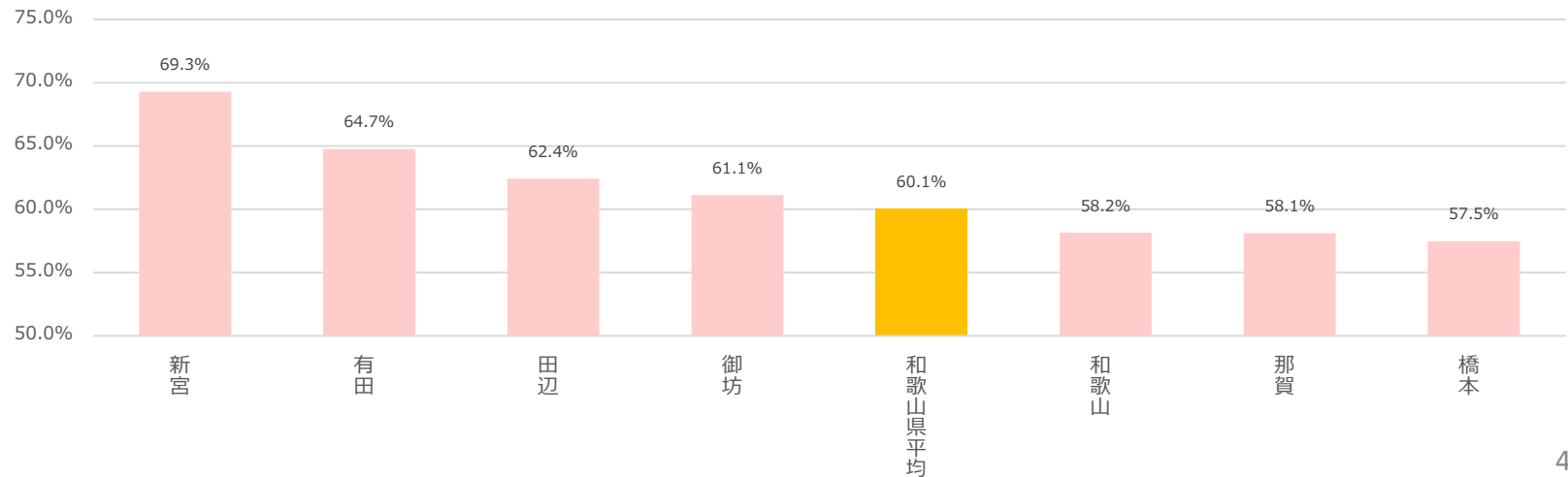
健診時の問診票の回答で、「睡眠で休養が十分とれている」と答えた方の割合です。

男女とも和歌山・那賀圏域が和歌山県平均より低く、睡眠が十分とれていると感じている方の割合が少ないことがわかります。

男性



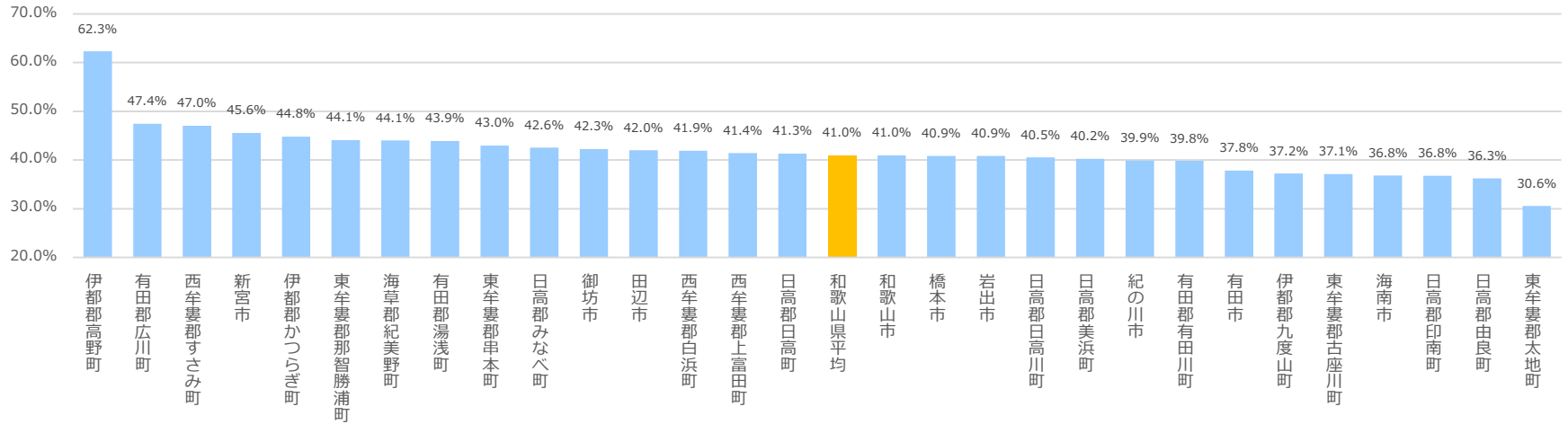
女性



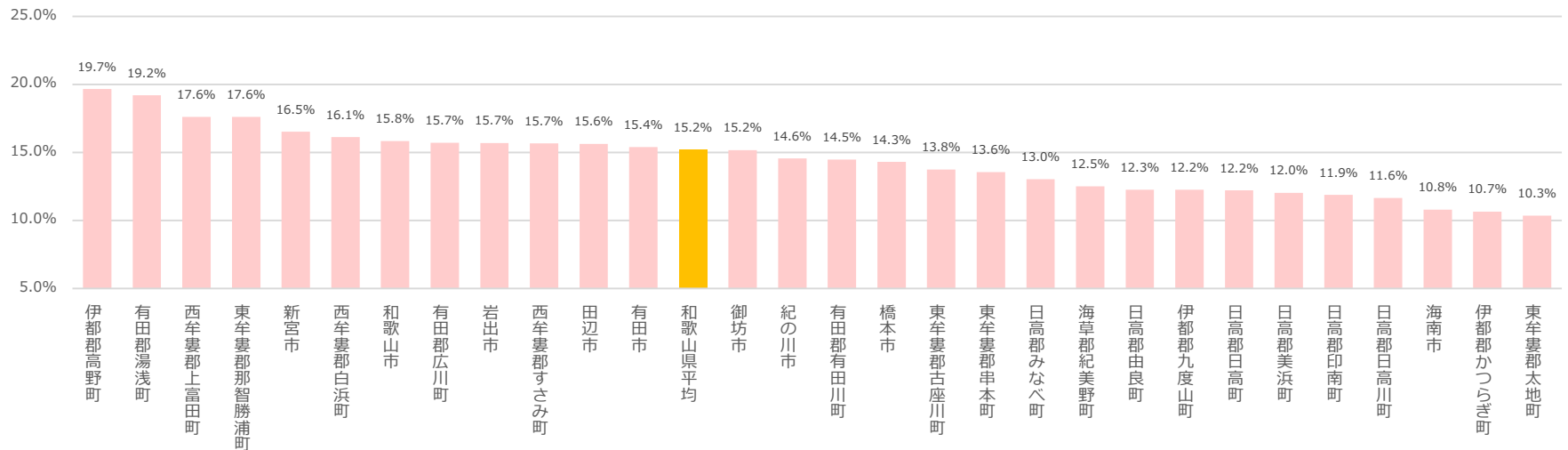
喫煙率の市町別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「煙草を習慣的に吸っている」と答えた方の割合です。
男女とも、高野町が高いことがわかります。

男性



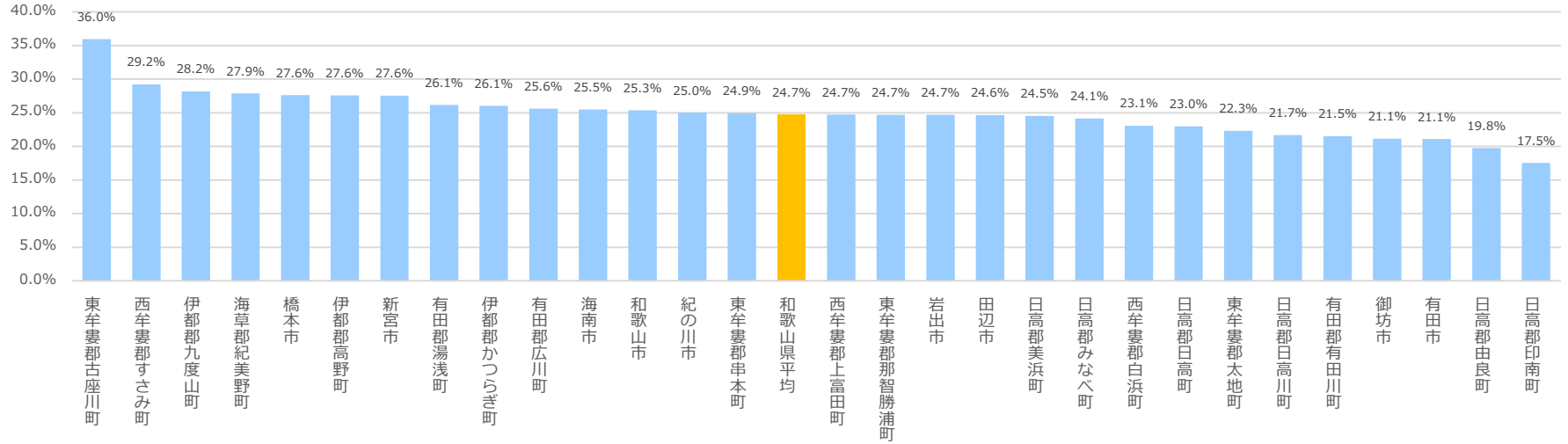
女性



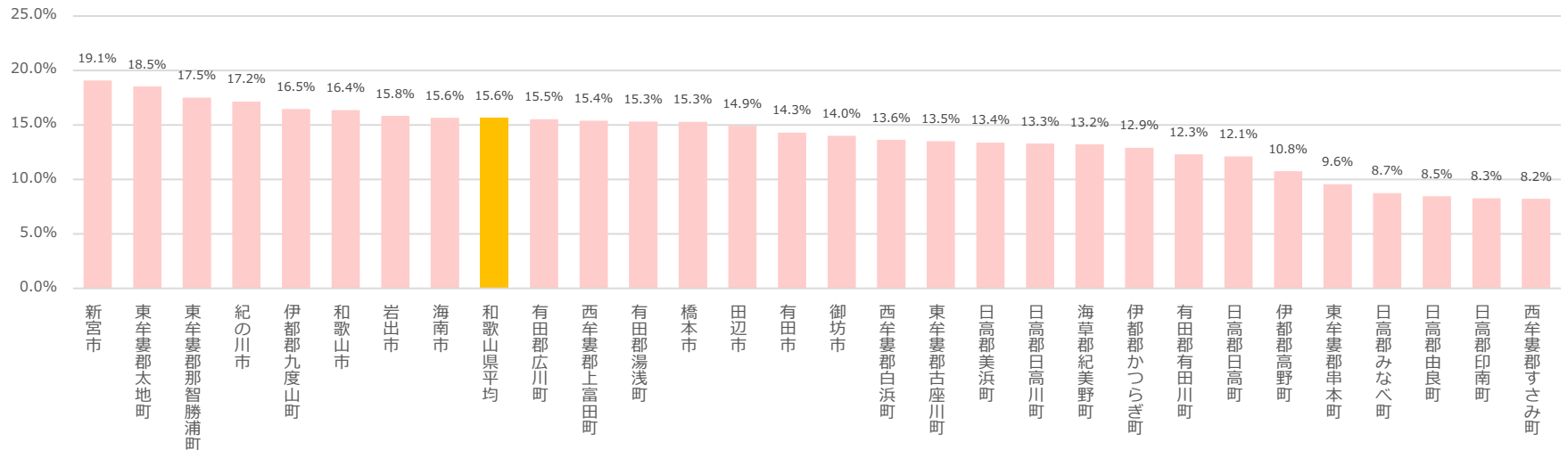
運動習慣の市町別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実践している」と答えた方の割合です。
男性は古座川町、女性は新宮市が高くなっており、運動習慣があると感じている方の割合が多いことがわかります。

男性



女性

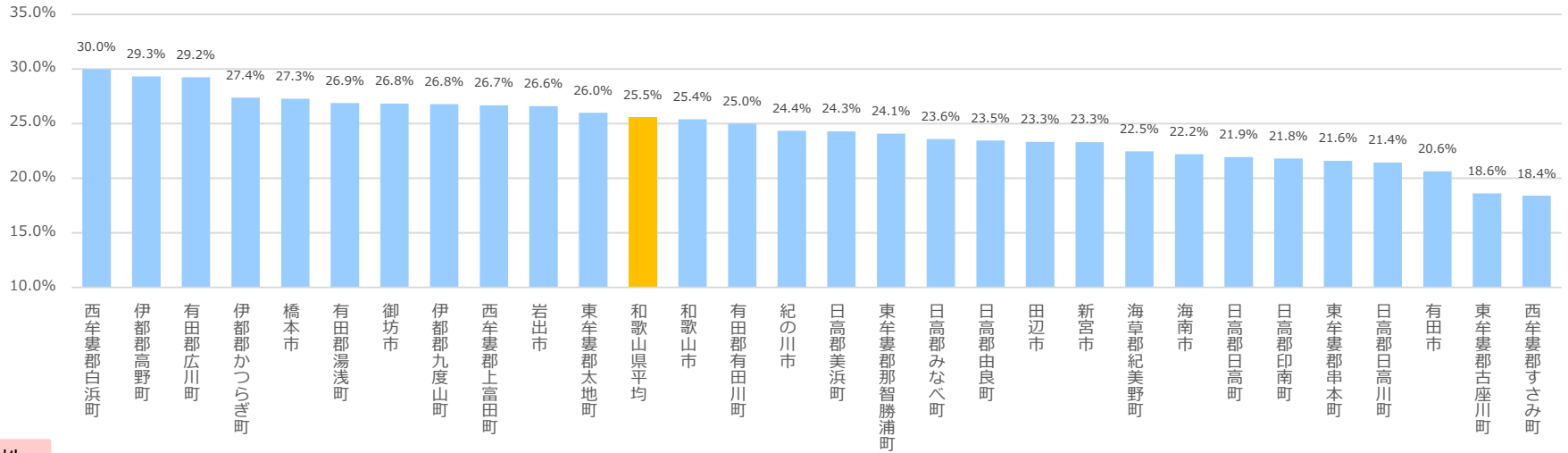


朝食欠食の市町別比較（令和元年度）

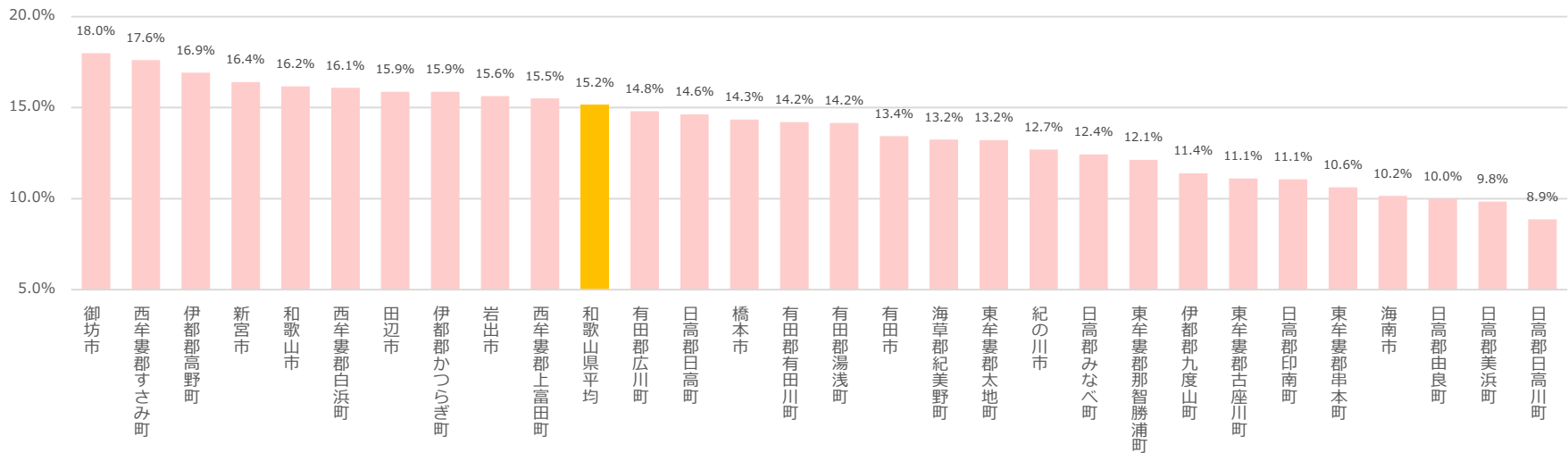
健診時の問診票の回答で、「朝食を抜くことが週3回以上ある」と答えた方の割合です。

男性は白浜町、女性は御坊市で高く、朝食を抜く習慣があると自覚される方の割合が多いことがわかります。

男性



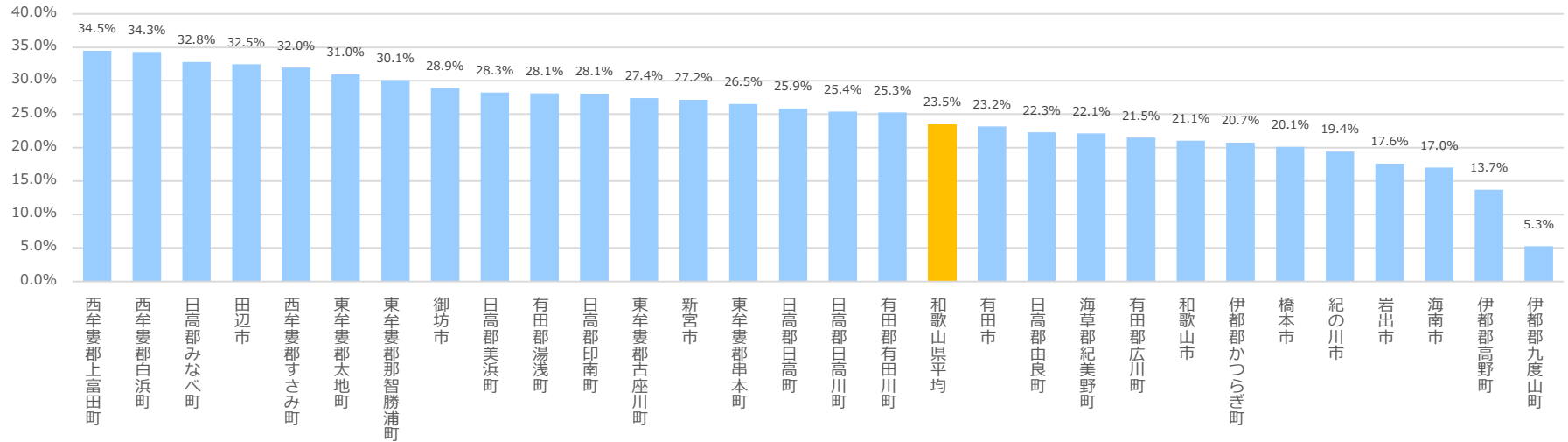
女性



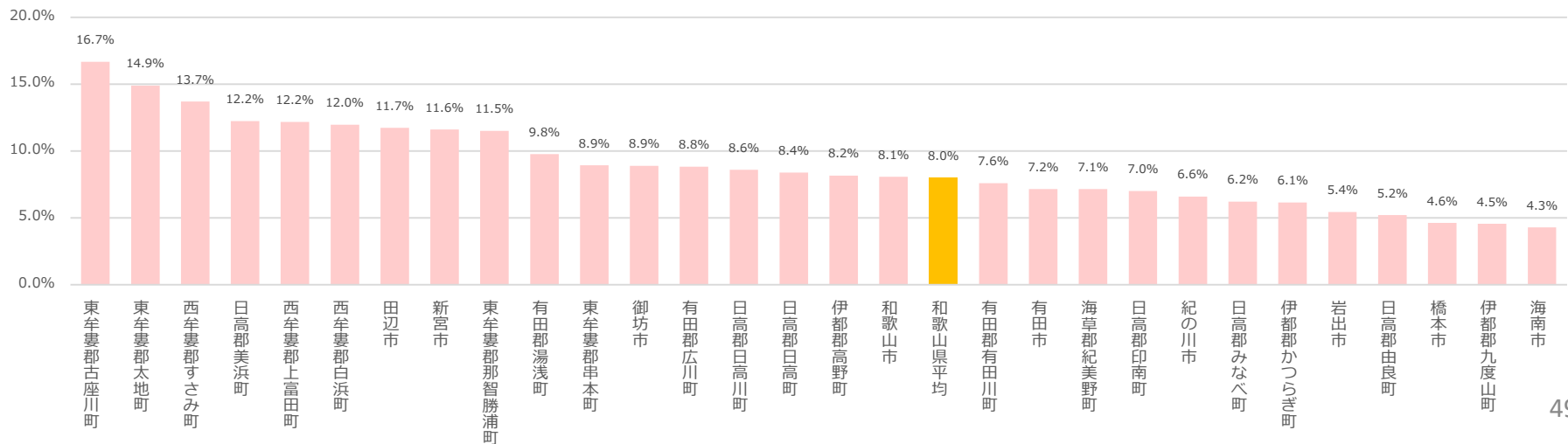
飲酒量の市町別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「飲酒日の1日当たりの飲酒量が日本酒2合相当分以上」と答えた方の割合です。
男性は上富田町、白浜町、女性は古座川町、太地町が高くなっています。

男性



女性

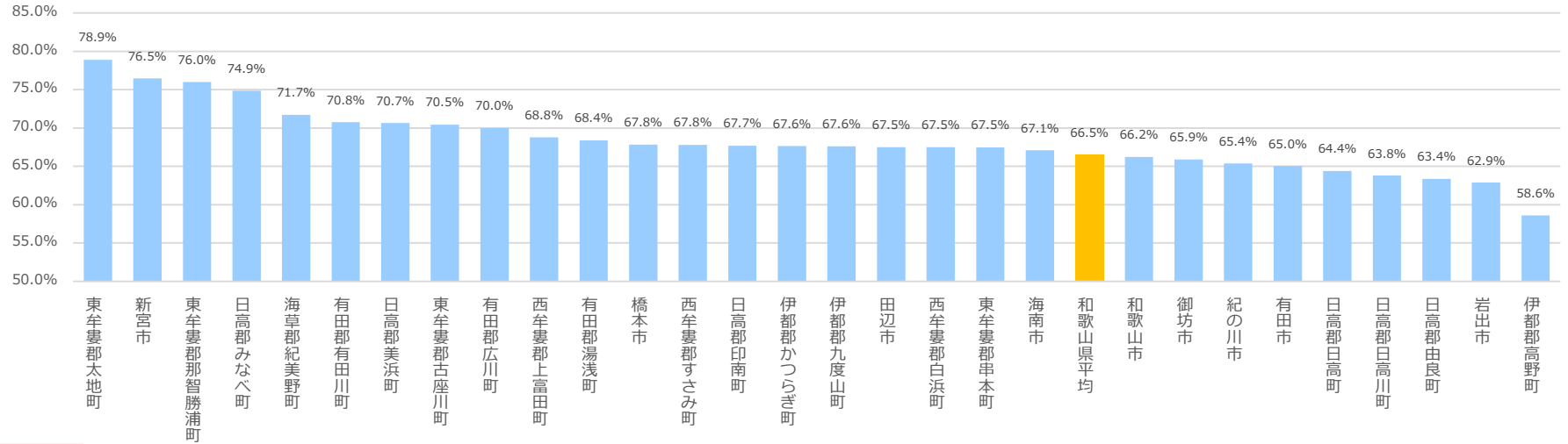


睡眠状況の市町別比較（令和元年度）

健診時の問診票の回答で、「睡眠で休養が十分取れている」と答えた方の割合です。

男女とも、高野町で低くなっており、睡眠で休養が十分とれていると感じる方の割合が少ないことがわかります。

男性



女性

